KAWAI

ES6

DIGITAL PIANO

取扱説明書

■同梱品
□ ES6 本体
□ AC アダプター 〈PS-154〉
□ フットペダル 〈F-10H〉
□ 譜面立て
□ 取扱説明書（本書）
□ 保証書
□ ご愛用者カード
□ アフターサービスと音楽教室のご案内
（すべて数量 1）

このたびは、KAWAIデジタルピアノES6をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
ES6はコンパクトボディながらもグランドピアノのタッチ感に大変近いアドバンスト・ハンマー・アクションⅣ-Fを搭載しています。
ピアノ音色はKAWAIフルコンサートピアノEXをステレオサンプリングしたもので、大変リアルな音になっています。オルガンやハープシコードなど全32音色を内蔵し、ピアノ以外の音色も楽しむことができます。新開発のハイクオリティでパワフルなスピーカー《6スピーカー・アレイ・システムⅡ》を搭載し、臨場感あふれる迫力のサウンドをお楽しみいただけます。
また、ドラムやベース、ギターの自動伴奏をバックにピアノ演奏ができるリズムセクション機能や指1本で鍵盤を押さえるだけでソロフレーズを簡単に演奏することができるワンフィンガーアドリブ機能®を搭載し、ピアノ演奏を一層盛上げます。
その他、演奏を録音してチェックできるレコーダーやお気に入りのパネル設定を記憶するレジストレーションなど、多種多彩な機能を装備しています。
さらに、電子楽器統一規格であるMIDI端子やコンピュータ接続端子USBを装備していますので、他のMIDIを装備した電子楽器と接続してアンサンブルや直接コンピュータに接続して楽譜の演奏など、バラエティに富んだ演奏にも対応できます。
ES6の性能をフルに発揮していただくとともに、いつまでも末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さるようお願い致します。

■ES6をご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。

目　次

◆安全上のご注意 4

準　備 6
1）付属品（お確かめください） 6
2）ES6 の特長 7
3）各部の名称とはたらき 8
4）演奏前の準備 10

演奏する 12
1）音色を選ぶ 12
2）２つの音色を重ねる ［デュアル］ 13
3）２つの音色を並べる ［スプリット］ 14
4）２台のピアノで連弾演奏する 16
5）効果を加える 17
音に残響を加える ［リバーブ］ 17
音に厚みを加える ［エフェクト］ 18
音質を切り替える ［イコライザー］ 19
6）デモ曲を聴く 20
7）タッチカーブを切り替える 22
8）キー（調）を変える ［トランスポーズ］ 23
9）メトロノームを鳴らす 24
テンポを調節する 24
拍子を選ぶ 25
音量を調節する 25

演奏の録音･再生 26
1）録音する 26
パート１に録音する 26
パート２に録音する 27
2）再生する 28
パートをミュートする 28
3）録音済みのパートを消去する 29
すべての曲を消去する 29

パネル設定を記憶する
［レジストレーション］ 30
1）レジストレーションを呼び出す 30
2）レジストレーションに記憶する 31
3）レジストレーションの設定を初期状態に戻す 31

自動伴奏をバックにピアノ演奏する
［リズムセクション］ 32
1）リズムセクションについて 32
2）リズムセクションを鳴らす 34
特定のパートだけを演奏する 35
リズムを変更する 35
テンポを変更する 35
リズムセクションの音量を変更する 36
スプリットポイントを変更する 36
3）コードパターン機能を使う 36
コードパターンを変更する 36
4）その他の機能を使う 37
レコーダに録音する 37
レジストレーションに記憶する 37
ワンフィンガーアドリブ機能を使う 37

各種設定 ［ファンクション］ 38
1）設定の種類 38
2）音の明るさを変える ［ブリリアンス］ 39
3）音程を微調整する ［チューニング］ 40
4）音色のニュアンスを変える［ボイシング］ 41
5）ダンパーペダルの共鳴効果を変える［ダンパーエフェクト］ .. 42
6）ピアノ弦の共鳴効果を変える[ストリングレゾナンス] ... 43
7）音律を変える 44
8）スプリット演奏の音域を上げる[ロアーオクターブシフト] .. 45
9）スプリット演奏のペダルを設定する
［ロアーペダル オン／オフ］ 46
10）ダンパーペダルにより音を持続させる
［ダンパーホールド オン／オフ］ 47
11）リズムセクション演奏にフィルインを入れる
［オートフィルイン］ 48
12）リズムセクション演奏にソロフレーズを加える
［ワンフィンガーアドリブ® オン／オフ］ 49
13）設定を記憶させる ［メモリー･バックアップ］ 50
14）MIDI機能を使う 51
MIDI について 51
MIDI 機能 52
MIDI 送受信チャンネルの設定 53
プログラムナンバーを送信する 54
ローカルコントロール オン / オフの設定 55
プログラムナンバー送信 オン / オフの設定 56
マルチティンバー･モード オン / オフの設定 57
チャンネルミュートの設定 60

付　録 61
1）外部機器と接続する 61
2）コード名一覧 63
3）コードパターン一覧 67
4）ドラム音色一覧 70
5）主な仕様 72
6）故障かな？と思ったら 73
お問い合わせ先について 73
7）MIDI インプリメンテーションチャート 74

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

警告表示と注意表示の意味

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例

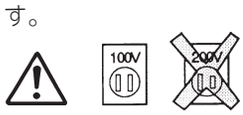
	△記号は危険、警告、注意を示す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。
	⃠ 記号は禁止を示す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は強制を示す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 警告

電源は、必ずAC100Vを使う

●電圧の異なる電源を使用しない。
●火災や感電の恐れがあります。

100V以外禁止



水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

●感電の原因になります。

濡れた手で触らない

本機を水で濡らさない

●本機に水がかかると、漏電による火災や感電の原因になります。

本機の上に乗ったり、無理な力を加えない

●破損または変形したり、お客様や他の方々がけがをする危険があります。

上に乗らない
よりかからない

ヘッドホンを、大音量で長時間使用しない

●聴力低下の原因になる恐れがあります。

長時間使用禁止

本機を分解、修理、改造しない

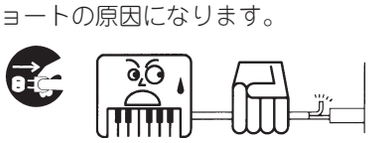
●故障、火災、感電、ショートの原因になります。

分解禁止

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

●コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

プラグ部分を持つ



長時間使用しないとき、または落雷の恐れがあるときは、必ず電源プラグを抜く

●落雷時に火災になる恐れがあります。

プラグを抜く

⚠注意

本機を次のような所では使用しない
・窓際など直射日光の当たる場所
・暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
・戸外など極端に温度の高いまたは低い場所
・極端に湿度の高い場所
・砂やホコリの多い場所
・振動の多い場所
・不安定な場所
●故障の原因になります

使用禁止

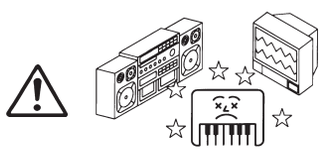
コード類は、各機器の電源を切ってから接続する
●本機や接続機器の故障の原因になります。

電源を切る

本機の内部に異物を入れないようにする
●水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

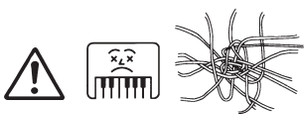
異物を入れない

テレビやラジオなどの電気機器の近くに置かない
●本機が雑音を発する恐れがあります。
●本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用ください。



電源コード、接続コード類はからまないように接続する
●コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

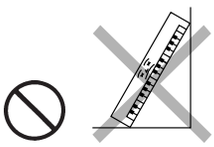
からまないようにする



ベンジンやシンナーで本機を拭かない
●変色や、変形の原因になります。
●清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いてください。

ベンジン／シンナー禁止

本機はハンマーアクション鍵盤を搭載しているため、特に次の点に注意してください。
●本機を長期間立てたままにしたり、通常の演奏では考えられない無理な力を鍵盤にかけると、故障の原因になります。



●ヘッドホンを使用したり、音量を下げて演奏すると、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

●コンセントの抜き差しが容易にできるように、本機を電源コンセントの近くに設置してください。

●本機の電源スイッチをオフにしていても、コンセントを差し込んだ状態であれば、本機に電源がつながっています。感電にご注意ください。

●運搬の際は、なるべく2人以上で運んでください。

■ 保護シートについて
●パネル上のディスプレイと譜面立てには、あらかじめ保護用シートが貼ってあります。

■ 保証書について
●本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入がない場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。
●保証書は、本書と共に大切に保管してください。

■ 修理について
●万一異常があるときはすぐに電源スイッチを切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。

準　備

1）付属品（お確かめください）

●ACアダプター〈PS-154〉（エーシー）

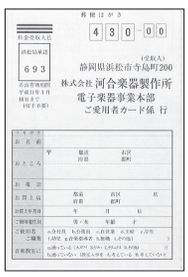
●フットペダル〈F-10H〉

● 譜面立て

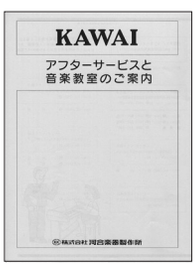
●取扱説明書（本書）

●保証書

●ご愛用者カード



●アフターサービスと
音楽教室のご案内



2) ES6の特長

本格的なピアノタッチを実現

演奏性を重視した「非対称音域別ハンマーウェイト」を採用することで、手応えが低音から高音まで滑らかに変化する演奏性を実現。ばねを一切使わない鍵盤機構で、グランドピアノのタッチ感をリアルに再現する「アドバンスト・ハンマー・アクション、IV-F」を搭載しています。

カワイフルコンサートピアノEXの響板や弦の響きを忠実に再現

世界の舞台で認められたフルコンサートピアノEXをサンプリングしたリアルで立体的な音を、いつでも気軽に楽しめます。

厳選された32種類の多彩な音色

グランドピアノ音色をはじめ、オルガンやストリングス、ハープシコードなど32種類の音色を内蔵しており、曲想に合わせて様々な音色をお楽しみいただけます。

ハイクオリティなステレオ方式のサウンド

場所を選ばないコンパクトなボディに、新開発のハイクオリティでパワフルなスピーカー《6スピーカー・アレイ・システムⅡ》を搭載しました。臨場感あふれる迫力のサウンドをお楽しみいただけます。

音の世界が広がる多彩なエフェクト

深みのある美しい響きを作り出す5種類のリバーブ、音に奥行き感や厚みを加える7種類のエフェクト、シチュエーションに合わせて音質を選べる3種類のイコライザーが音楽の可能性をより高めます。

お気に入りのパネル設定を記憶するレジストレーション機能

音色やエフェクトなどパネル上の設定をあらかじめ記憶しておき、ボタン操作ひとつで簡単にお好みの設定を呼び出して演奏することができます。

ドラムやベース、ギターの自動伴奏をバックにピアノ演奏ができるリズムセクション機能

お好みの音楽を、バンド演奏のように、ドラムやベース、ギターを自動伴奏させながらピアノ演奏ができる機能です。基本パターンの8ビート、16ビートから、ポップス、ロック、バラード、ワールドリズムまで幅広く100種類のリズムを搭載しており、ピアノ演奏を一層盛上げます。
さらに、指1本で鍵盤を押さえるだけでソロフレーズを簡単に演奏することができるワンフィンガーアドリブ®機能も搭載しています。

演奏を録音してチェックできるレコーダー

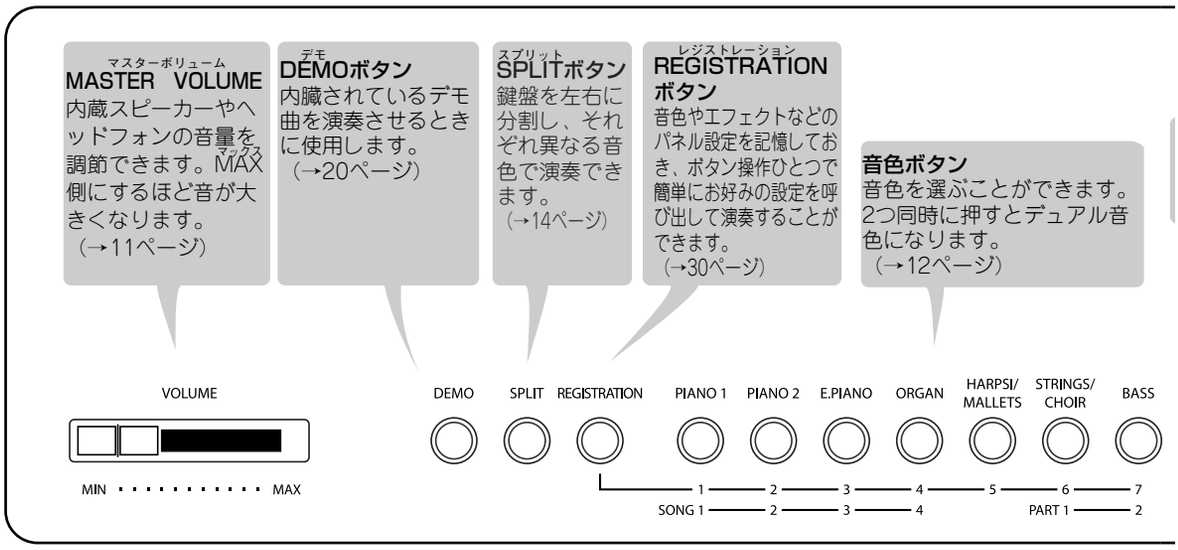
演奏を2パートに分けて4曲まで録音することができます。左手と右手のパートをそれぞれ別に録音したり、演奏を重ねて一人で連弾を楽しんだり使い方は様々です。

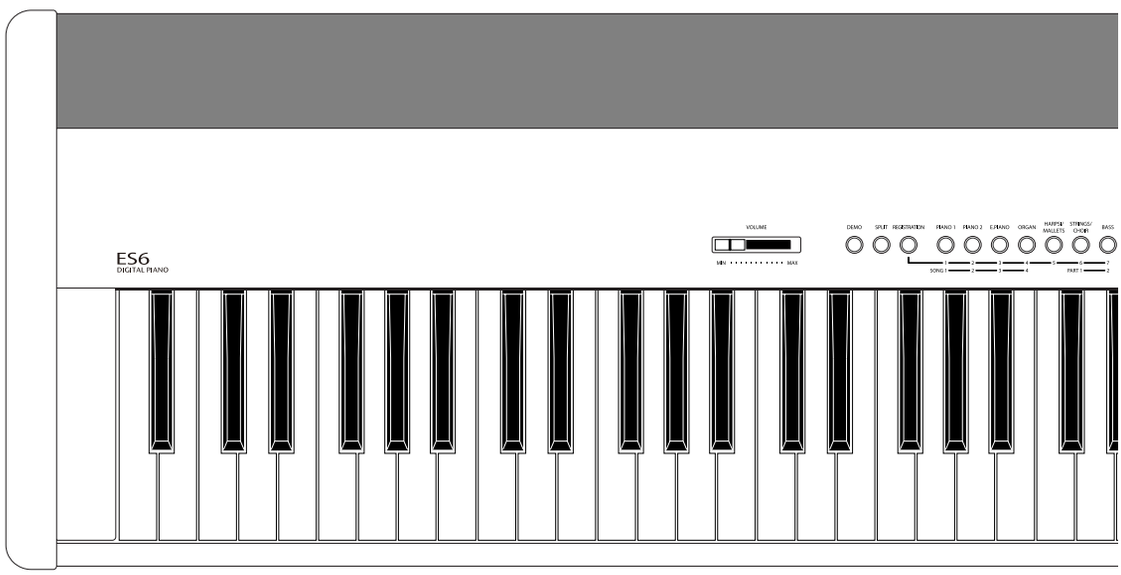
音楽の可能性を広げるMIDIとUSBインターフェース

他のMIDI機器と接続して演奏情報やパネル情報をやりとりできるMIDI端子を装備しています。また、パソコンとの接続を考慮しUSBインターフェースも装備しています。

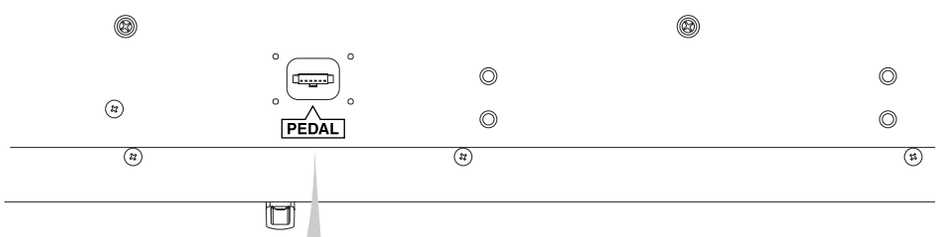
本製品で使用しているＵＳＢ-ＭＩＤＩ変換ボード「TID10000934」は、USBロゴ認証を取得しております。USBロゴは、USB-IF(USB Implementers Forum Inc.)による、認証テストに合格した製品のみが表示を許されるものです。

3）各部の名称と働き





裏面図



ペダル
PEDAL端子
別売の3本ペダル(F-300H)を接続して、ダンパー、ソステヌート、ソフトの 各効果を得ることができます。詳しくは、別売3本ペダルに添付してあります取扱説明書をご覧ください。

ディスプレイ
さまざまな設定値が表示されます。

VALUE/BALANCE（バリュー/バランス）ボタン
設定値を上下させます。

EFFECTS（エフェクト）ボタン
音に奥行き感や厚みを加えることができます。（→18ページ）

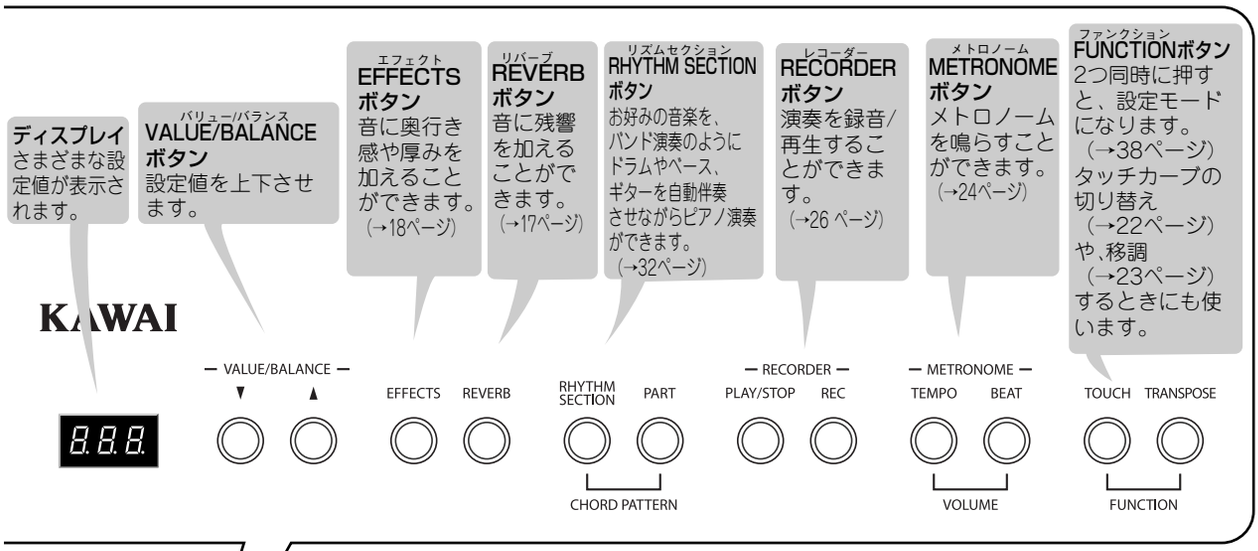
REVERB（リバーブ）ボタン
音に残響を加えることができます。（→17ページ）

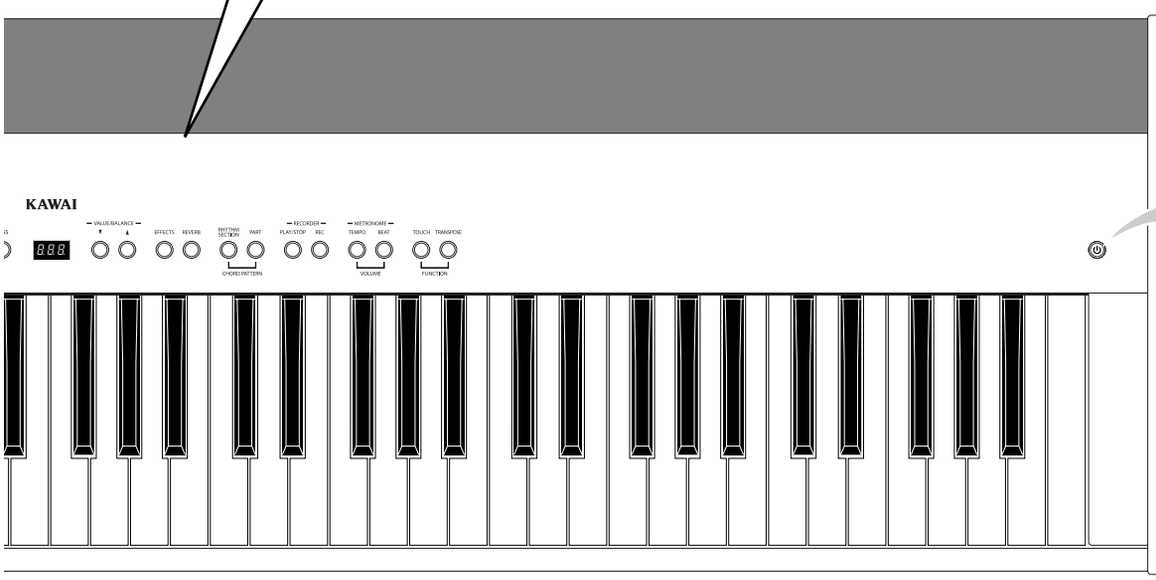
RHYTHM SECTION（リズムセクション）ボタン
お好みの音楽を、バンド演奏のようにドラムやベース、ギターを自動伴奏させながらピアノ演奏ができます。（→32ページ）

RECORDER（レコーダー）ボタン
演奏を録音/再生することができます。（→26 ページ）

METRONOME（メトロノーム）ボタン
メトロノームを鳴らすことができます。（→24ページ）

FUNCTIONボタン（ファンクション）
2つ同時に押すと、設定モードになります。（→38ページ）タッチカーブの切り替え（→22ページ）や､移調（→23ページ）するときにも使います。





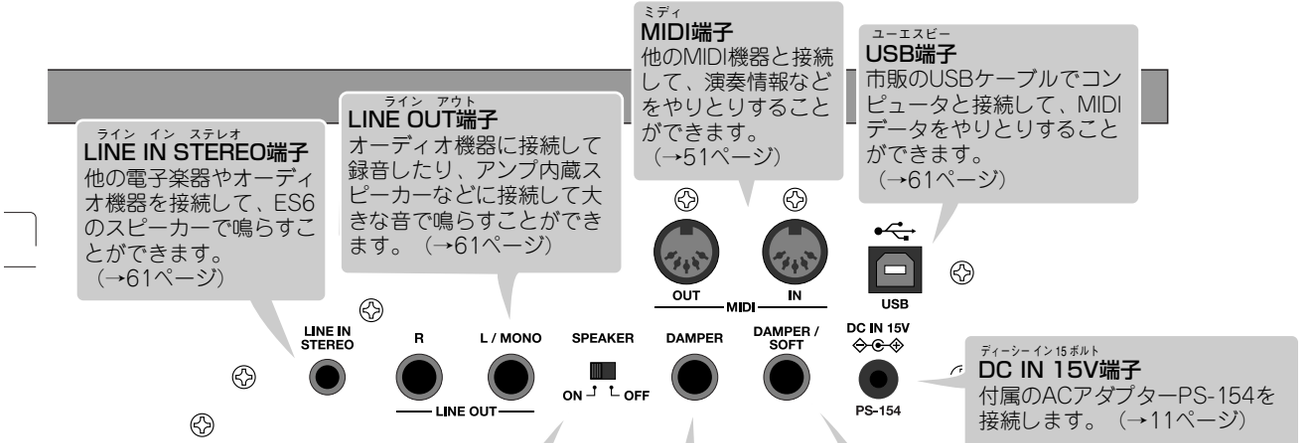
電源ボタン（→11ページ）

LINE IN STEREO（ライン イン ステレオ）端子
他の電子楽器やオーディオ機器を接続して、ES6のスピーカーで鳴らすことができます。（→61ページ）

LINE OUT（ライン アウト）端子
オーディオ機器に接続して録音したり、アンプ内蔵スピーカーなどに接続して大きな音で鳴らすことができます。（→61ページ）

MIDI（ミディ）端子
他のMIDI機器と接続して、演奏情報などをやりとりすることができます。（→51ページ）

USB（ユーエスビー）端子
市販のUSBケーブルでコンピュータと接続して、MIDIデータをやりとりすることができます。（→61ページ）



DC IN 15V（ディーシーイン 15 ボルト）端子
付属のACアダプターPS-154を接続します。（→11ページ）

SPEAKER（スピーカー）スイッチ
OFF側にすると、スピーカーの音を消すことができます。（→11ページ）

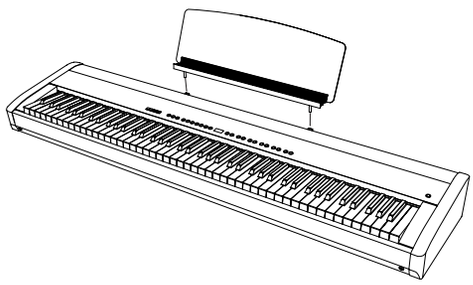
DAMPER（ダンパー）端子
付属のペダルを接続して、ダンパー効果を得ることができます。（→10ページ）

DAMPER / SOFT（ダンパー/ソフト）端子
別売の2本ペダル(F-20)を接続して、ダンパー効果やソフト効果を得ることができます。（→10ページ）

4）演奏前の準備

譜面立てを立てる

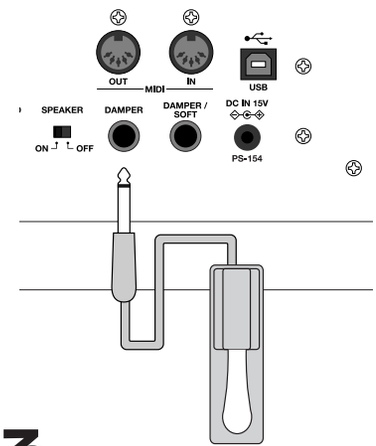
本体上部の穴に差し込みます。



・本体に差し込む時、傷がつかないよう注意して下さい。
・無理やり譜面立てを引っ張ったり、後ろに押し倒さないで下さい。

フットペダルを接続する

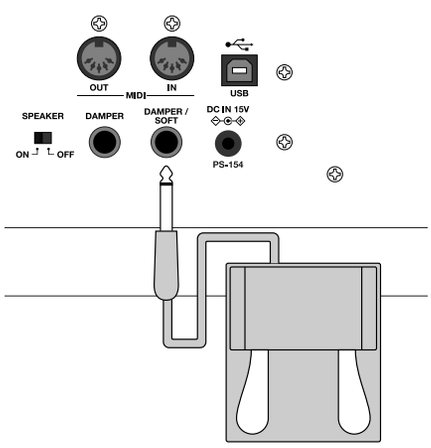
付属のフットペダルF-10Hを、DAMPER（ダンパー）端子に接続します。
付属のフットペダルはダンパーペダルです。



ダンパーペダルとは
鍵盤から指を離しても、ダンパーペダルを踏んでいる間は弾いた音が長く響きます。

別売のフットペダルを接続する

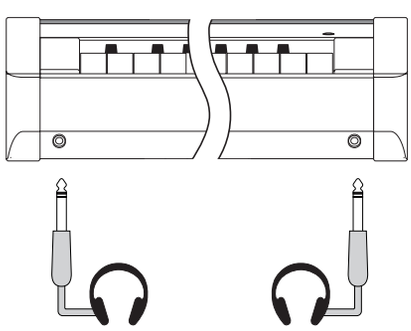
別売のフットペダルF-20をDAMPER/SOFT（ダンパー／ソフト）端子に接続します。
F-20は、ダンパーペダル（ハーフ対応）とソフトペダルの2本ペダルです



ソフトペダルとは
ソフトペダルを踏んだあとに弾いた音の音量がわずかに下がると同時に、音の響きが柔らかくなります。

別売のヘッドホンを接続する

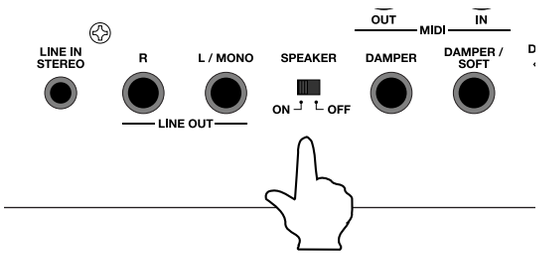
別売のヘッドホン（SH-2NまたはSH-5）をPHONES（フォーン）端子に接続します。
ヘッドホンは2本まで接続できます。



スピーカー出力を入/切する

SPEAKER(スピーカー)スイッチを切り替えます。
ON(オン)側にすると本機のスピーカーから音が出ます。

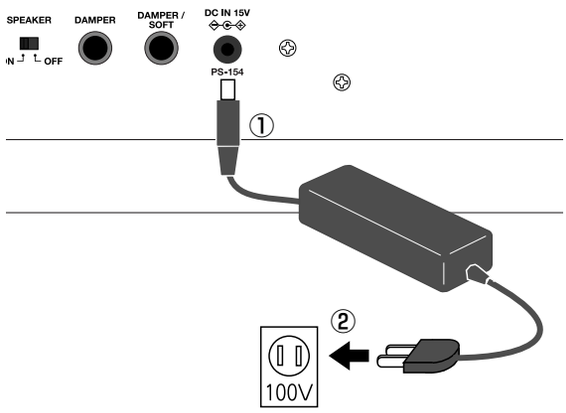
ヘッドホンを接続した場合は、SPEAKERスイッチのON/OFFにかかわらずスピーカーから音は出ません。



音を鳴らす

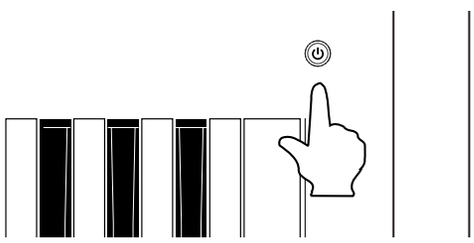
1 *ACアダプターの接続*

付属のACアダプターPS-154を本体のDC IN 15V(15ボルト)端子に差し込み、次にコンセント(AC100V)に差し込みます。



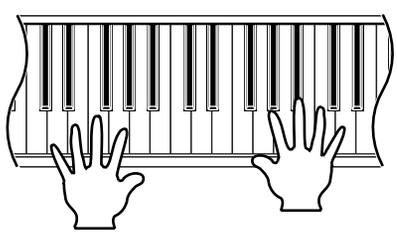
2 *電源を入れる*

電源ボタンを押します。ボタンが点灯します。



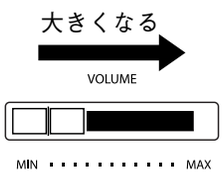
3 *音を出す*

MASTER VOLUME(マスターボリューム)を中央付近にセットし、鍵盤を弾いてみましょう。
音が出ます。



音量を調節する

MASTER VOLUME(マスターボリューム)を左右に動かしてお好みの音量にします。



⚠ 注意

本体下側にはスピーカーシステム用の開口部があります。テーブルなどに本体を置く場合、この開口部の下に紙や薄い布などがあると異音を発生する場合があります。
又、この開口部をふさぐと、本来の性能が得られなくなりますのでご注意下さい。

演奏する

1）音色を選ぶ

ピアノ音色をはじめとした32種類の音色があります。

標準音色を選ぶ

7つの音色ボタンに、下記のように割り当てられています。

◇内臓音色

PIANO1 （ピアノ1）
1. コンサート グランド
2. スタジオ グランド
3. メロー グランド
4. ブライト ピアノ

PIANO2 （ピアノ2）
1. コンサート グランド 2
2. スタジオ グランド 2
3. メロー グランド 2
4. ロック ピアノ

ELECTRIC PIANO （エレクトリックピアノ）
1. クラシック E. ピアノ
2. モダン E. ピアノ
3. 60's E. ピアノ
4. レジェンド E. ピアノ

ORGAN （オルガン）
1. ジャズ オルガン
2. ドローバー オルガン
3. チャーチ オルガン
4. ディアパソン

HARPSI / MALLETS （ハープシ／マレッツ）
1. ハープシコード
2. ビブラフォン
3. クラビ
4. マリンバ

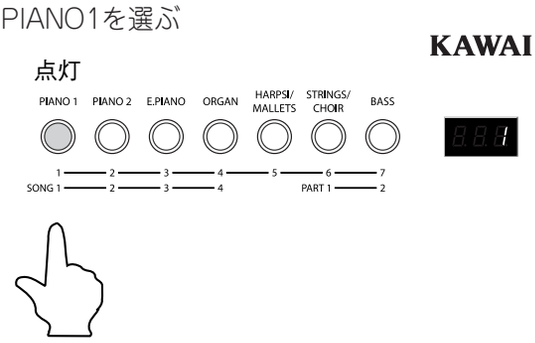
STRIGNS / CHOIR （ストリングス／クワイア）
1. スロー ストリングス
2. ストリング アンサンブル
3. シンセ ストリングス
4. メロー ストリングス
5. クワイア
6. クワイア2
7. ファンタジー
8. ファンタジー2

BASS （ベース）
1. ウッドベース
2. エレクトリック ベース
3. フレットレス ベース
4. W. ベース＆シンバル

音色ボタンを押す

押された音色のランプが点灯し選択されます。
一つの音色ボタンに複数の音色が割り当てられており、選択されているボタンを再度押すと同じ音色ボタンに割り当てられている他の音色が選択されます。その時ディスプレイには音色の番号が表示されます。（約2秒）

例: PIANO1を選ぶ



2) 2つの音色を重ねる［デュアル］

2つの音色を重ね合わせて、厚みのある音で演奏することができます。
この設定はレジストレーションに記憶することができます。（30ページ参照）

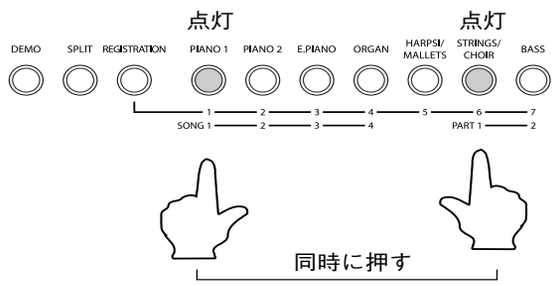
■ 次の2通り（いずれか）の方法で音色を組み合わせることができます。

・各ボタンにあらかじめ音色を割り当てておき、次に2つのボタンを同時に押します。
・組み合わせたい音色のうちの片方をまず選び、その音色ボタンを押しながら、もう一方の音色ボタンを何回か繰り返し押します。
・同一ボタンの音色を組み合わせるには片方を選んだあとその音色ボタンを押しながらVALUE/BALANCEボタンを押してもう一方の音色を選びます。

例：2つのボタンを同時に押す

【コンサートグランド（PIANO1ボタンの表音色）とスローストリングス（STRINGS & CHOIRボタンの表音色）を組み合わせる】

PIANO1（ピアノ）ボタンとSTRINGS（ストリングス） / CHOIR（クワイア）ボタンを同時に押します。
両方のボタンが赤色に点灯します。

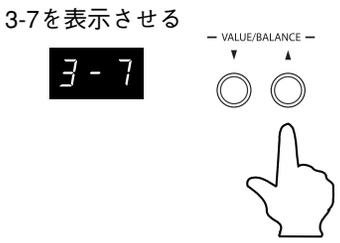


デュアルの音量バランスを調節する

選んだ2つの音色の音量バランスを調節することができます。

音量バランスを設定する
VALUE/BALANCE（バリューバランス）ボタンを押して指定します。
音量バランスが、ディスプレイに表示されます。
・電源を入れた時は「5-5」（左右の音色の音量が等しい）です。

例:3-7（コンサートグランドの音量3に対してストリングスの音量7）にする

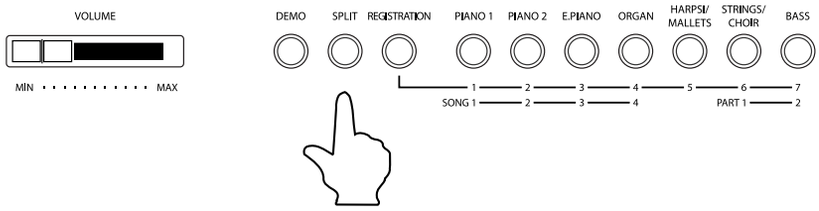


3) 2つの音色を並べる[スプリット]

スプリットポイントを境に鍵盤を左右 2 つに分け、鍵盤の高音側、低音側それぞれに別々の音色を設定しアンサンブル演奏をすることができます。
この設定は、レジストレーションに記憶することが出来ます。（30 ページ参照）

1 スプリット機能をオンにする

SPLIT（スプリット）ボタンを押します。



SPLITボタンが点灯します。音色ボタンの中で点灯しているボタンと点滅しているボタンがあります。
点灯している音色ボタンは、SPLITボタンを押す前に選ばれている音色で、高音側の音色になります。
点滅している音色ボタンは、低音側の音色であらかじめ設定されているベース音色です

2 高音側の音色を設定する

高音側の音色は、音色ボタンを押して変更します。

押した音色ボタンが点灯します。音色ボタンを押した時、ディスプレイには右の図のように、左に低音側音色番号、右に高音側音色番号が表示されます。
同じ音色ボタンをつづけて2回以上押すと、その音色ボタンの別の音色に変更することができます。

3 低音側の音色を設定する

低音側の音色は、SPLITボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します。
押した音色ボタンが点滅します。
同じ音色ボタンをつづけて2回以上押すと、その音色ボタンの別の音色に変更することができます。

4 スプリット機能をオフにする

スプリット演奏を解除する時は、再度SPLITボタンを押します。
SPLITボタンが消灯し、通常の演奏状態に戻ります。

・低音側の音色に、オクターブシフトを設定することができます。（45ページ参照）
・低音側の音色に、ダンパーペダルのオン／オフを設定することができます。（46ページ参照）

スプリットの音量バランスを調整する

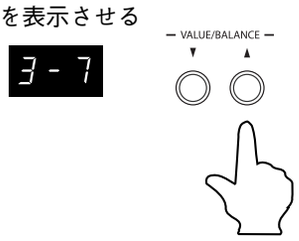
選んだ2つの音色の音量バランスを調節することができます。

1 *音量バランスを調整する*

VALUE(バリュー)/BALANCE(バランス)ボタンの▲、▼のいずれかを動かして、低音側と高音側の音量バランスを設定します。
音量バランスが、ディスプレイに表示されます。

・電源を入れた時は「5-5」(左右の音色の音量が等しい)です。

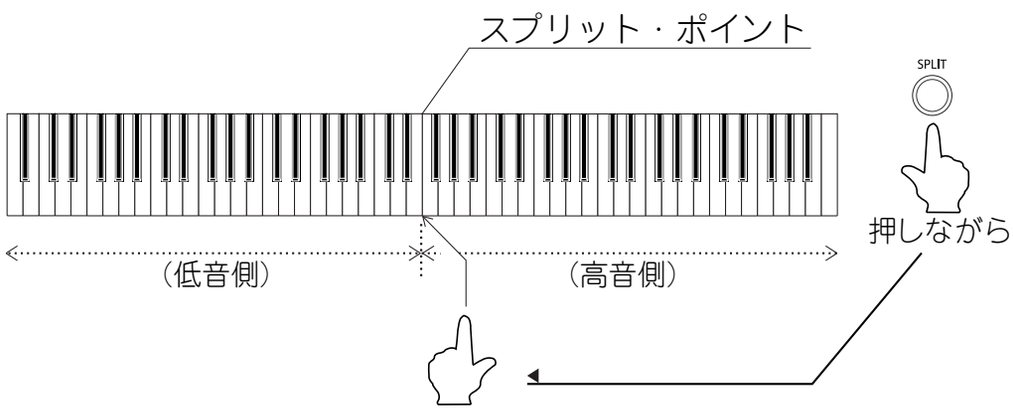
例:3-7(ウッドベースの音量3に対してコンサートグランドの音量7)にする。



2 *スプリットポイントを変更する*

SPLIT(スプリット)ボタンを押しながら鍵盤を押します。
押した鍵盤から上が、高音側の音色になります。

・工場出荷時の設定値はG2の鍵盤です。※中央のC(ド)はC3です。
・スプリットポイントの設定値は、リズムセクション機能(32ページ)と共通です。

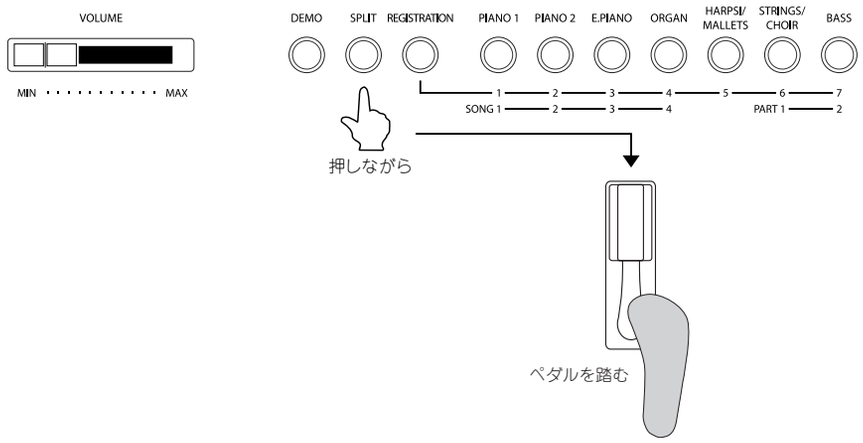


4）2台のピアノで連弾演奏する

スプリットポイントを境にして右側と左側に鍵盤を分け、それぞれ同じ音域で演奏することができるので、2台のピアノのように連弾演奏を楽しむことができます。

1 連弾演奏機能をオンにする

SPLIT（スプリット）ボタンを押しながら、ダンパーペダルを踏みます。



SPLITボタンが点滅し、連弾演奏ができる状態になります。
ダンパーペダルは右側の鍵盤にかかります。

・通常の演奏時に対して、右側の鍵盤の音程は2オクターブ下がり、左側の鍵盤の音程は2オクターブ上がります。また、左側の鍵盤にはロアーオクターブシフトを設定することができます。（45ページ参照）

・オプションの2本ペダル（F－20）や3本ペダル（F－300H）を使うと、ダンパーペダル（右ペダル）は右側の鍵盤のダンパーペダルとして、ソフトペダル（左ペダル）は左側の鍵盤のダンパーペダルとして動作します。

2 音色、音量バランス、スプリットポイントを設定する

通常のスプリット演奏と同じように、右側・左側の音色、左右の音色の音量バランス、スプリットポイントの設定ができます。（14ページ参照）

・これらの設定は、通常のスプリット演奏のときに使用する設定とは別のものですので、スプリット演奏の時の設定が変更されることはありません。

再度SPLITボタンを押すと、SPLITボタンが消灯し、通常の演奏状態に戻ります。

5）効果を加える

効果（エフェクト）を加えて音の表情を変えることができます。
これらの設定は、レジストレーションに記憶することができます。（30ページ参照）

音に残響を加える[リバーブ]

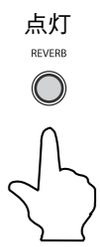
リバーブは、音に残響を加えて臨場感を与える効果です。5種類の中から好みのリバーブを選ぶことができます。

種　類	ディスプレイ表示	特　徴	残響音
ルーム1,2	rol,ro2	部屋で弾いているような響きです。 ルーム2の方が長い残響時間が得られます。	短い
ステージ	StG	ステージで弾いているような響きです。	↕
ホール1,2	HA1,HA2	ホールで弾いているような響きです。 ホール2の方が長い残響音が得られます。	長い

1 リバーブをオンにする

REVERB（リバーブ）ボタンを押します。
REVERBボタンが点灯し、リバーブがオンになります。

・再度REVERBボタンを押すと、REVERBボタンが消灯してリバーブが解除されます。

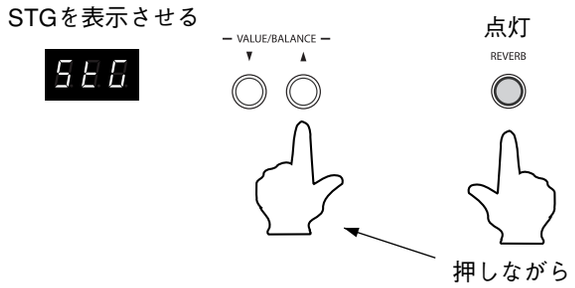


2 リバーブの種類を選ぶ

REVERB（リバーブ）ボタンを押しながら、VALUE/BALANCE（バリュー／バランス）ボタンを押して選びます。
選んだリバーブの種類が、ディスプレイに表示されます。

・メモリー･バックアップ機能（50ページ参照）を使って、リバーブのオン/オフと種類を音色ごとに記憶させておくことができます。

例:ステージを選ぶ



音に厚みを加える[エフェクト]

エフェクトは、音に奥行き感や厚みを加える効果です。7種類の中から好みのエフェクトを選ぶことができます。

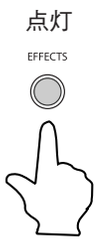
種　類	ディスプレイ表示	特　　徴
コーラス	Chr	音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることにより、音に広がりを加えます。
ディレイ1	dL 1	音に山びこのような反響音を加える効果です。 ディレイ1～3は、おもに反響音のパターンが違います。
ディレイ2	dL 2	
ディレイ3	dL 3	
トレモロ	trE	音に“ゆらぎ”を与える効果です。
ロータリー1	rt 1	ロータリー(回転式)スピーカーを使って得られる効果です。
ロータリー2	rt 2	ロータリー1に歪み効果を加えます。

1 エフェクトをオンにする

EFFECTS(エフェクト)ボタンを押します。

EFFECTS(エフェクト)ボタンが点灯し、エフェクトがオンになります。

・再度EFFECTSボタンを押すと、EFFECTSボタンが消灯してエフェクトが解除されます。



2 エフェクトの種類を選ぶ

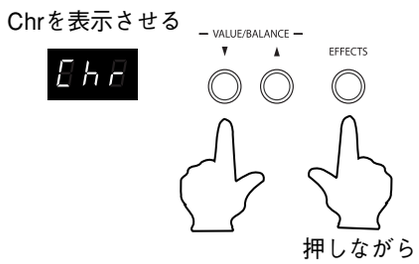
EFFECTS(エフェクト)ボタンを押しながら、VALUE(バリュー)/BALANCE(バランス)ボタンを押して選びます。

選んだエフェクトの種類が、ディスプレイに表示されます。

・ロータリー1、2を選んだ場合、VALUE/BALANCEボタンを同時に押すことによって、ロータリースピーカーの回転の速さを切り変えることができます。オプションの2本ペダル(F-20H)、3本ペダル(F-300H)のソフトペダル(左ペダル)を押すことでも、回転の速さを切り換えることができます。

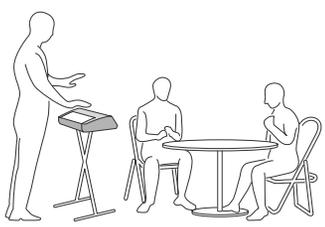
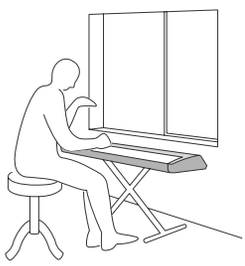
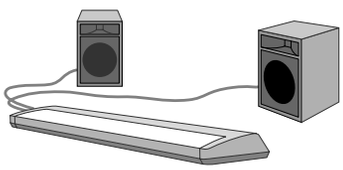
・メモリー・バックアップ機能(50ページ参照)を使って、エフェクトのオン／オフと種類を音色毎にを記憶させておくことができます。

例：コーラスを選ぶ



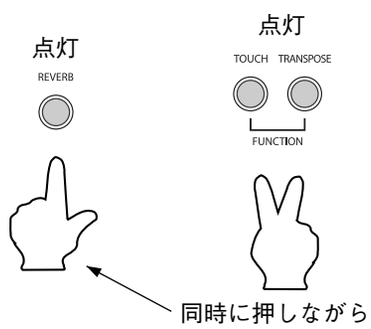
音質を切り替える[イコライザー]

イコライザーは、音質を変える効果です。3種類の中から好みの音質を選ぶことができます。
ヘッドホンの接続も考慮して選択してください。

種　類	モード1	モード2	モード3
ディスプレイ表示	E9←交互→1	E9←交互→2	E9←交互→3
ヘッドホンを接続しない場合	ES6を壁から離れた場所に設置するときや、本機の後ろで聴く人がいるときにお薦めします。 	壁の近くに設置するときにお薦めします。 	LINE OUT（ライン アウト）端子に外部スピーカーやPAを接続して、外部機器側で鳴らすときにお薦めします。 
ヘッドホンを接続する場合	通常の場合にお薦めします。最も標準的な音に調整されています。	ヘッドホンの高音が足りないときにお薦めします。高音強調効果がかかりモード1、3よりクリアな音になります。	モード1のヘッドホンと同じ音質です。

1 *イコライザーの設定準備*

FUNCTION（ファンクション）ボタン（TOUCH（タッチ）ボタンとTRANSPOSE（トランスポーズ）ボタン）を押しながら、REVERB（リバーブ）ボタンを押します。
FUNCTIONボタンとREVERBボタンが点灯し、イコライザーの設定が可能になります。



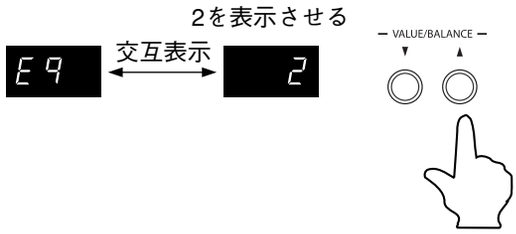
2 *イコライザーの種類を選ぶ*

VALUE/BALANCE（バリュー／バランス）ボタンを押して選びます。
選んだイコライザーの種類が、ディスプレイに表示されます。

FUNCTIONボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定状態から抜けます。

・工場出荷時の設定はモード1です。
・メモリー・バックアップ機能（50ページ参照）を使って、設定を記憶させておくことができます。
・イコライザーの設定は、全音色に共通です。

例: モード2を選ぶ



6）デモ曲を聴く

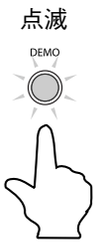
新開発のハイクオリティでパワフルなスピーカー《6スピーカー・アレイ・システムⅡ》による臨場感あふれる迫力のサウンドを紹介するメインデモ曲（1曲）、それぞれの音色をボタン毎に紹介した音色デモ曲（27曲）、ドラムやベース、ギターの自動伴奏をバックにピアノ演奏ができるリズムセクション機能を使ったピアノ演奏デモ曲（1曲）を内蔵しています。ポップスやジャズ、クラシックなど幅広い音楽ジャンルでES6サウンドのすばらしさを体感してください。

音色デモ曲

音色ボタン	音　色	曲　名	作曲者
メインデモ曲		カワイオリジナル	
PIANO1	コンサートグランド	ゴリウォーグのケーク・ウォーク	ドビュッシー
	スタジオグランド	カワイオリジナル	
	メローグランド	知らない国々	シューマン
	ブライト　ピアノ	カワイオリジナル	
PIANO2	コンサートグランド2	子犬のワルツ	ショパン
	スタジオグランド2	カワイオリジナル	
	メローグランド2	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
	ロックピアノ	カワイオリジナル	
ELECTRIC PIANO	クラシックＥ．ピアノ	カワイオリジナル	
	モダンＥ．ピアノ	カワイオリジナル	
ORGAN	ジャズオルガン	カワイオリジナル	
	ドローバーオルガン	カワイオリジナル	
	チャーチオルガン	トッカータ	ジグー
	ディアパソン	主よ人の望みの喜びよ	バッハ
HARPSI / MALLETS	ハープシコード	フランス組曲第6番	バッハ
	ビブラフォン	カワイオリジナル	
	クラビ	カワイオリジナル	
STRINGS / CHOIR	スローストリングス	カワイオリジナル	
	ストリングアンサンブル	四季“春”	ヴィヴァルディ
	シンセストリングス	カワイオリジナル	
	クワイア	カワイオリジナル	
	クワイア2	カワイオリジナル	
	ファンタジー	カワイオリジナル	
	ファンタジー2	カワイオリジナル	
BASS	ウッドベース	カワイオリジナル	
	フレットレスベース	カワイオリジナル	
	W．ベース&シンバル	カワイオリジナル	
リズムセクション機能デモ曲		カワイオリジナル	

1 デモ曲の再生

DEMO(デモ)ボタンを押します。
DEMOボタンが点滅し、メインデモ曲が再生されます。

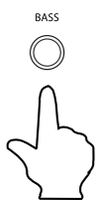


2 音色デモ曲を選ぶ。

メインデモ曲が終わると音色デモ曲が再生されます。メインデモ曲の途中でも、音色ボタンを押すとその音色のデモに移ります。
選んだ音色ボタンが点滅して、デモ曲が再生されます。

・押した音色ボタンに含まれる曲が再生された後、他の音色のデモ曲が順不同に再生されます。

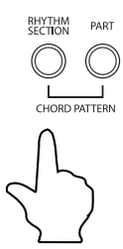
例: ウッドベースの曲を選ぶ



3 リズムセクションデモ曲を選ぶ

音色デモ曲が終わるとリズムセクションデモ曲が再生されます。メインデモ曲や音色デモ曲の途中でも、RHYTHM SECTION(リズムセクション)ボタンを押すとその音色のデモに移ります。
RHYTHM SECTIONボタンが点滅して、デモ曲が再生されます。

・リズムセクションデモ曲が再生された後、メインデモ曲から繰り返し再生されます。



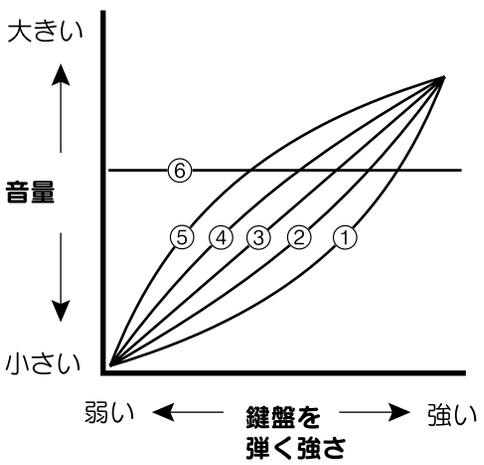
4 デモ曲の停止

DEMO(デモ)ボタンを押します。
DEMOボタンが消灯し、デモ曲が止まります。

7）タッチカーブを切り替える

ピアノでは、鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。タッチカーブとは、鍵盤を弾く強さと音量の関係を表したカーブです。本機では6種類のタッチカーブを装備しており、好みに合わせたタッチカーブに切り替えることができます。
この設定は、レジストレーションに記憶することができます。（30ページ参照）

種　類	ディスプレイ表示	特　徴
①ヘビー2	HE2	指の力が強い人や練習向きのタッチカーブです。
②ヘビー1	HE 1	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
③ノーマル	ー	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
④ライト1	Lt 1	小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きです。
⑤ライト2	Lt2	弱いタッチで弾いても大きな音が出ます。
⑥オフ	oFF	弾く強さに関係なく一定の音量で鳴ります。

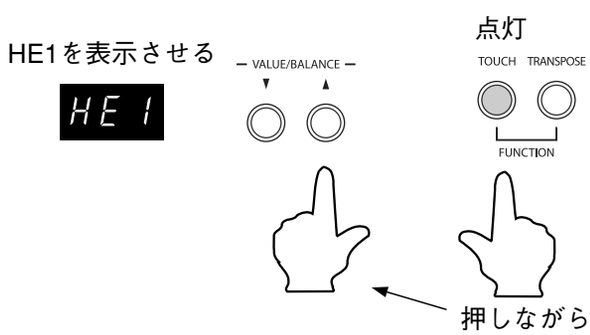


・③ノーマルはTOUCH（タッチ）ボタンが消灯しているときのカーブです。TOUCHボタンを消灯させると、いつでもノーマルに戻ります。
・タッチカーブの切り替え機能は、TOUCHボタンを点灯させたときのカーブを選ぶ機能です。工場出荷時の設定は④ライト1です。
・メモリー･バックアップ機能（50ページ参照）を使って、設定値を記憶させておくことができます。

タッチカーブを切り替える

TOUCH（タッチ）ボタンを押しながら、
VALUE/BALANCE（バリュー／バランス）ボタンを押して選びます。
電源を切るまでは、TOUCHボタンを点灯させると、ここで指定したカーブが選ばれます。

例: ②ヘビー1を選ぶ



8) キー(調)を変える[トランスポーズ]

弾く鍵盤を変えずに、調の異なる楽器とアンサンブル演奏をしたり、歌う人の声の高さにキー(調)を合わせることができます。
移調(トランスポーズ)する値は半音単位、上下1オクターブずつ(-12〜+12)の範囲で設定できます。
たとえば移調する値を「+5」に設定すると、「ド」を弾いたときに「ファ」の音が出ることになり、「ハ長調」で弾いても「ヘ長調」の曲になります。

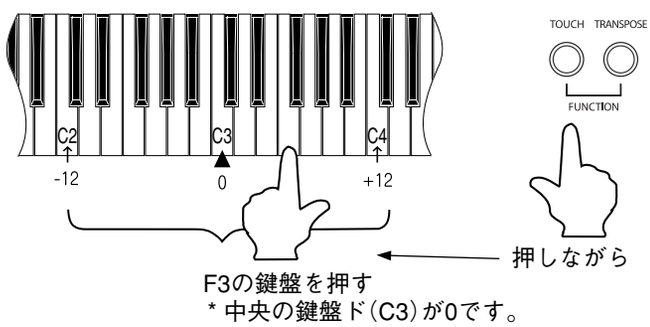
移調する値を設定する

TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら、C2〜C4の鍵盤を押して指定します。
または、TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら、VALUE/BALANCE(バリュー/バランス)ボタンを押して指定します。
移調する値がディスプレイに表示され、移調がオンになります。

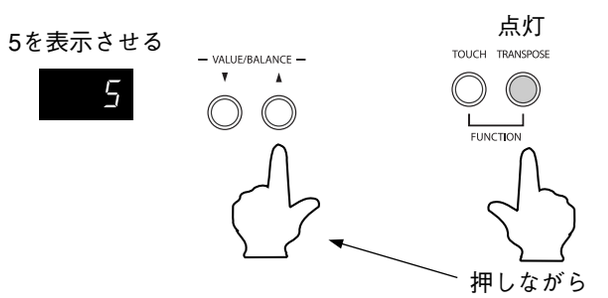
- TRANSPOSEボタンを点灯させたときに、移調が有効になります。
- TRANSPOSEボタンを押すたびに、移調がオン/オフされます。
- 移調する値を0に指定したときは、TRANSPOSEボタンは点灯しません。

- 工場出荷時の設定値は0です。
- メモリー・バックアップ機能(50ページ参照)を使って、設定値を記憶させておくことができます。

例: 移調する値を+5にする



または



9）メトロノームを鳴らす

本機は正確なテンポを刻むメトロノームを内臓しています。

メトロノーム

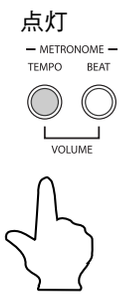
	ディスプレイ表示	拍子	ディスプレイ表示	拍子
メトロノーム	1-4	1拍子	5-4	5/4拍子
	2-4	2/4拍子	3-8	3/8拍子
	3-4	3/4拍子	6-8	6/8拍子
	4-4	4/4拍子		

テンポを調節する

メトロノームのテンポ（1分間の拍数）を、10～400の範囲で調節することができます。

1 *メトロノームを鳴らす*

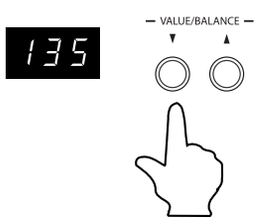
TEMPO（テンポ）ボタンを押します。
TENPOボタンが点灯し、メトロノームが鳴り出します。
テンポがディスプレイに表示されます。



2 *テンポを調節する*

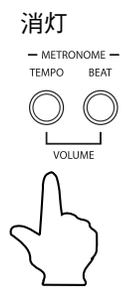
VALUE/BALANCE（バリュー／バランス）ボタンを押して調節します。

・工場出荷時の設定値は120です。
・メモリー・バックアップ機能（50ページ参照）を使って、設定値を記憶させておくことができます。



3 *メトロノームを止める*

TEMPO（テンポ）ボタンを押します。
TEMPOボタンが消灯し、メトロノームが止まります。



拍子を選ぶ

1 *BEAT（ビート）ボタンを押します*

BEAT（ビート）ボタンを押します。

BEATボタンが点灯し拍子がディスプレイに表示されます。

2 *VALUE（バリュー）ボタンを押して選びます。*

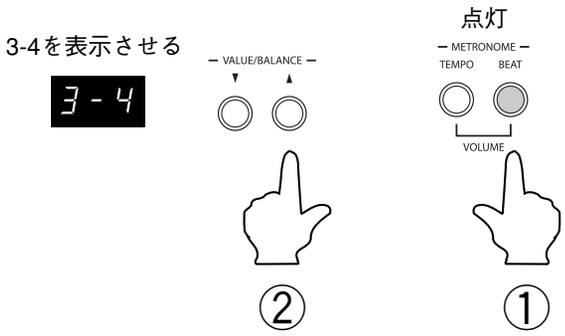
拍子は1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8が選べます。

再度BEATボタンを押すとBEATボタンが消灯しメトロノームが止まります。

・工場出荷時の設定は4/4です。

・メモリー・バックアップ機能（50ページ参照）を使って、設定を記憶させておくことができます。

例: 3/4拍子のメトロノームを選ぶ



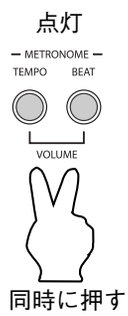
音量を調節する

メトロノームの音量を、1～10の範囲で調節することができます。

1 *音量設定の準備*

TEMPO（テンポ）とBEAT（ビート）ボタンを同時に押します。

TEMPOボタンとBEATボタンが点灯し、音量設定が可能になります。



2 *音量を調節する*

VALUE（バリュー）ボタンを押して調節します。

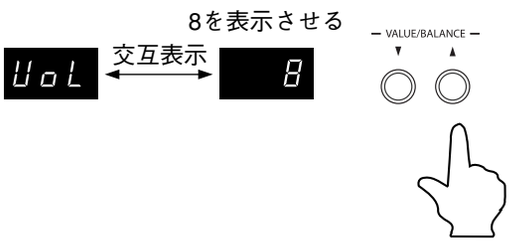
音量がディスプレイに表示されます。

TEMPOボタン、BEATボタンを同時に押すと、設定状態から抜けます。

・工場出荷時の設定値は5です。

・メモリー・バックアップ機能（50ページ参照）を使って、設定値を記憶させておくことができます。

例: 8にする



演奏の録音・再生

1）録音する

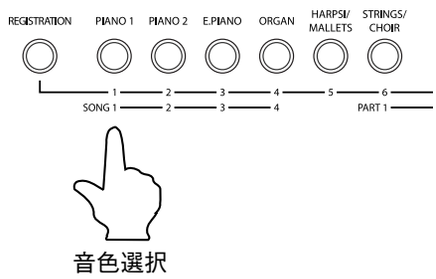
本機に演奏を4曲まで録音することができます。自分の演奏を録音しあとでじっくり聴いたり、指導者の方にお手本に録音してもらうなど、使い方は様々です。各曲とも2パートに分けて録音できるため、左手パートを先に録音しておき、再生しながら右手パートを録音することができます。また、連弾曲やアンサンブルの曲を1パートずつ録音して完成させることもできます。この他、リズムセクション機能（32ページ参照）使用中に、お好みのコード進行演奏を録音することができます。

パート1に録音する

1 ***録音に使う音色を選ぶ***

音色ボタンを押して指定します。
録音を行うと、音色の選択も記録されます。

例: コンサートグランドの音色を選ぶ



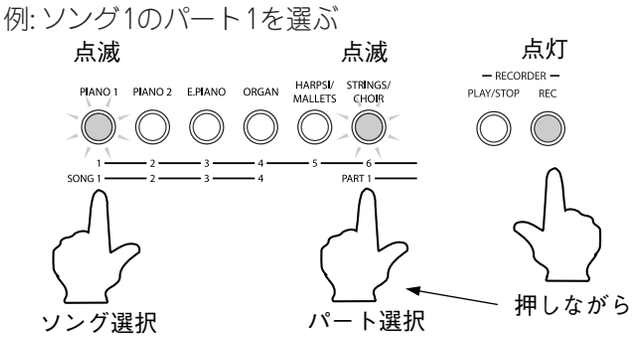
音色選択

2 ***録音先を指定する***

RECボタン（レック）を押しながら、録音するSONG（ソング）とPART1（パート）のボタンを順に押します。
RECボタンを押している間、指定したSONGとPART1のボタンは点滅します。
RECボタンを離すと、選んだSONGとPART1のボタンが消灯、RECボタンが点滅し、録音待機状態になります。

・録音を中止する場合は、RECボタンを押してRECボタンを消灯させます。

例: ソング1のパート1を選ぶ

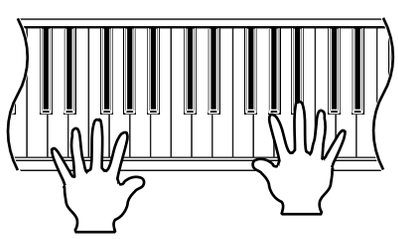


ソング選択　パート選択　押しながら

3 ***録音を開始する***

演奏を始めます。
RECボタンとPLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンが点灯して、自動的に録音が始まります。

・PLAY/STOPボタンを押して録音を開始することもできます。

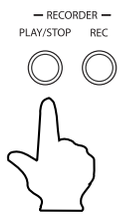


4 ***録音を終了する***

PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。
RECボタンとPLAY/STOPボタンが消灯して、録音が終了します。

・演奏を失敗した場合など録音し直す場合は、上記の1〜4の手順で再度行って下さい。

消灯



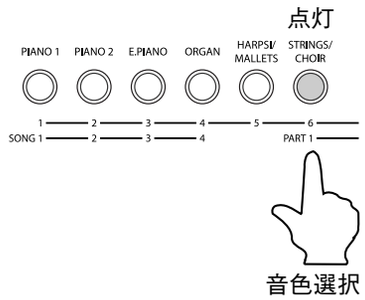
パート2に録音する

録音済みのパート1を聴きながら、パート2に録音してみましょう。

1 録音に使う音色を選ぶ

音色ボタンを押して指定します。
録音を行うと、音色の選択も記録されます。

例: ストリングスの音色を選ぶ

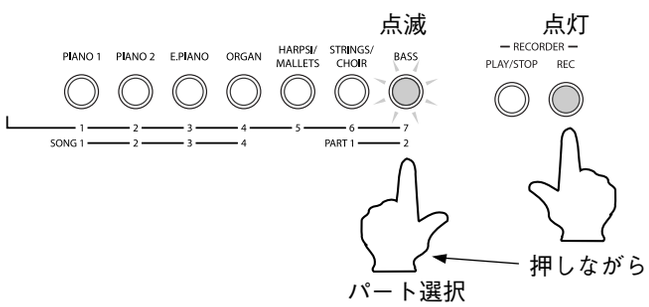


2 録音先を指定する

RECボタン(レック)を押しながら、録音するPART2(パート)のボタンを押します。
RECボタンを押している間、指定したSONG(ソング)とPART 2のボタンは点滅して、録音待機状態になったことを示します。
また、PART1のボタンは点灯しますが、これはすでに録音済みのPART 1が再生待機状態になったことを示します。
RECボタンを離すと、RECボタンは点滅に変わり、選んだSONGとPART 2のボタンは点滅をやめて、最後に選んだ音色の点灯に変わります。

・録音を中止する場合は、RECボタンを押してRECボタンを消灯させます。

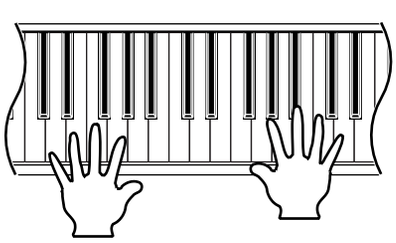
例: ソング1のパート2を選ぶ



3 録音を開始する

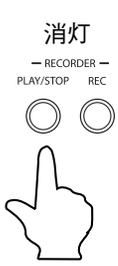
演奏を始めます。
RECボタンとPLAY/STOPボタンが点灯してパート1の内容が再生を始めると共に、パート2への録音が始まります。

・PLAY/STOPボタンを押して録音を開始することもできます。



4 録音を終了する

PLAY/STOP(プレイ/ストップ)ボタンを押します。
RECボタンとPLAY/STOPボタンが消灯して、録音が終了します。



・レコーダーの総記憶容量は、ソング1〜4の合計で約60,000音です。録音中に記憶容量がいっぱいになると録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。
・演奏を失敗した場合など録音し直す場合は、上記の1〜4の手順で再度行ってください。

2) 再生する

録音した内容を再生してみましょう。

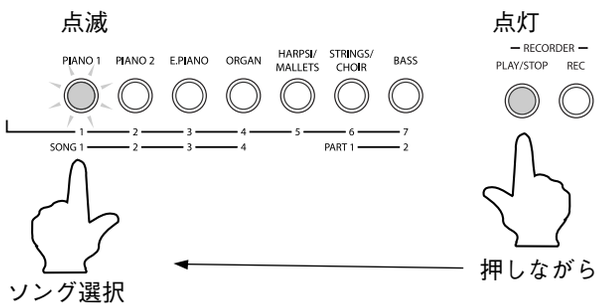
1 曲を指定する

PLAY/STOP(プレイ/ストップ)ボタンを押しながら、再生するSONG(ソング)ボタンを押します。

指定したSONGボタンが点滅します。

PLAY/STOPボタンを押している間に点灯するSONGボタンは、録音済みのボタンです。

例: ソング1を選ぶ



2 再生を開始する

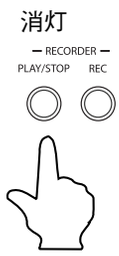
PLAY/STOP(プレイ/ストップ)ボタンを離します。

再生が始まります。

3 再生を終了する

PLAY/STOP(プレイ/ストップ)ボタンを押します。

PLAY/STOPボタンが消灯して、再生が終了します。



パートをミュートする

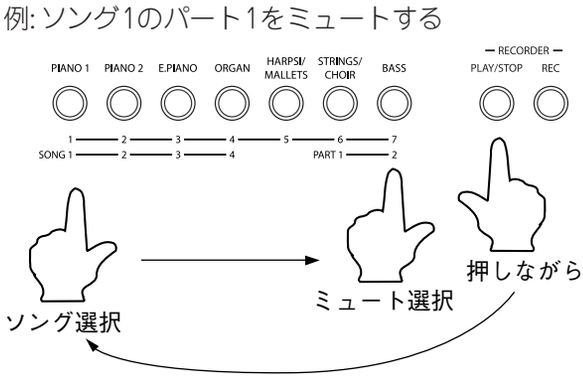
録音済みのパートでも、音を一時的に消して再生することができます。

片方のパートをミュートして再生する

PLAY/STOP(プレイ/ストップ)ボタンを押しながら、再生するSONG(ソング)ボタン、ミュートするPART(パート)ボタンを順に押します。

ミュートを指定したPARTボタンは消灯し、残りのパートだけで再生が始まります。

例: ソング1のパート1をミュートする



3）録音済みのパートを消去する

不要な曲をパートごとに消去することができます。

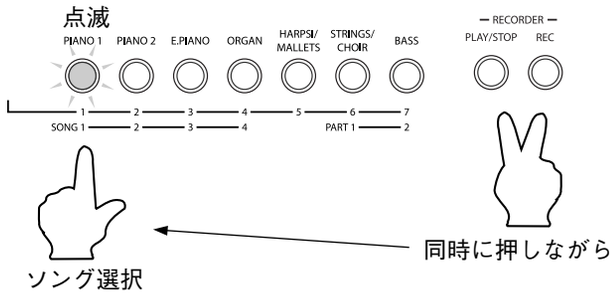
1 曲を指定する

PLAY/STOP（プレイ／ストップ）ボタンとREC（レック）ボタンを同時に押しながら、消去するパートのSONG（ソング）ボタンを押します。PLAY/STOP（プレイ／ストップ）ボタンとREC（レック）ボタンは押し続けます。

指定したSONGボタンが点滅します。

PLAY/STOPボタンとRECボタンを同時に押したときに点灯するSONGボタンは、録音済みのボタンです。

例: ソング1を指定する

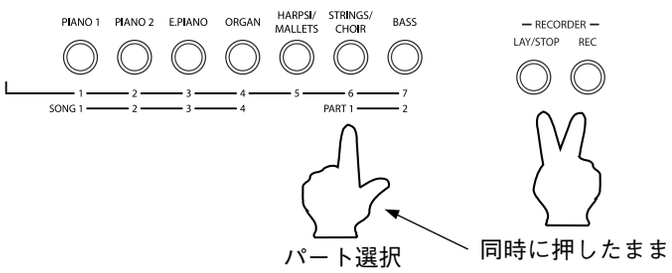


2 消去するパートを指定する

PLAY/STOP（プレイ／ストップ）ボタンとREC（レック）ボタンを同時に押したまま、消去するPART（パート）ボタンを押します。

指定したPARTボタンが消灯して、消去が完了します。

例: パート1を消去する



・別のパートも消去する場合は、上記の1〜2の手順で繰り返してください。

すべての曲を消去する

録音されているすべての曲（ソング1〜4）を一括で消去することができます。

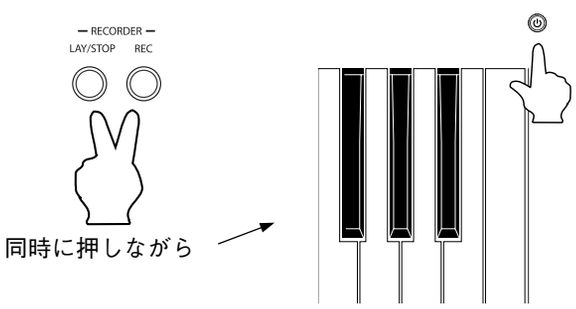
1 消去の準備

電源を切ります。

2 一括消去する

PLAY/STOP（プレイ／ストップ）ボタンとREC（レック）ボタンを同時に押しながら、電源を入れます。

一括消去が完了します。



パネル設定を記憶する[レジストレーション]

音色やエフェクト等のパネル上の設定をあらかじめ記憶しておき、ボタン操作ひとつで簡単にお好みの設定を呼び出して演奏することが出来ます。
レジストレーションは、以下の設定を、音色ボタンに割り当てた1〜7までの番号に2つずつ計14個まで記憶することができます。

・音色(デュアル、スプリットの音色設定含む)
・デュアル／スプリットバランス、スプリットポイント
・エフェクト、リバーブの設定
・イコライザーの設定
・タッチカーブ

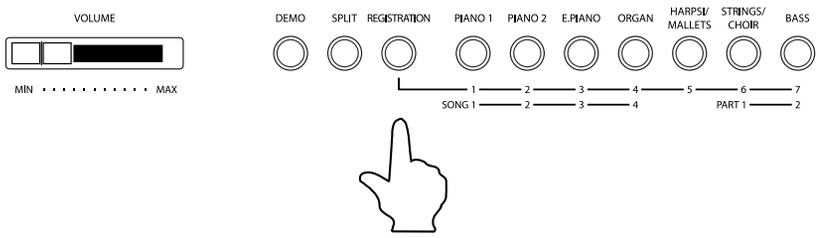
リズムセクション機能の設定　(32ページ)
・リズム番号
・パート
・テンポ
・リズムセクション音量
・コードパターン番号
・コードパターンのオン／オフ

ファンクションの設定　(38ページ)
・ブリリアンス
・チューニング
・ボイシング
・ダンパーエフェクト
・ストリングレゾナンス
・音律
・ロワーオクターブシフト
・ロワーペダルのオン／オフ
・オートフィルイン
・ワンフィンガーアドリブのオン／オフ
・ダンパーホールドのオン／オフ

1）レジストレーションを呼び出す

1 *レジストレーション機能をオンにする*

REGISTRATION(レジストレーション)ボタンを押します。



REGISTRATIONボタンが点灯し、あらかじめ記憶されたレジストレーションが呼び出されます。ディスプレイには、呼び出されたレジストレーション番号が表示されます。右の図は、ボタン１の１つめのレジストレーションを示しています。

2 レジストレーションを選ぶ

レジストレーション選択ボタン1から7(音色ボタンと同じ)のいずれかを押すと、その他のレジストレーションを呼び出すことが出来ます。

再度同じレジストレーション選択ボタンを押すと、2つめのレジストレーションを呼び出すことが出来ます。

右の図は、ボタン3の2つめのレジストレーションを示しています。

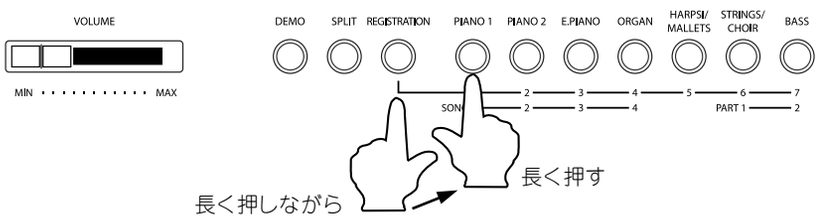
再度同じレジストレーション選択ボタンを押すかわりに、VALUE/BALANCE(バリュー/バランス)ボタンの▲、▼を押すことで別のレジストレーションを呼び出すこともできます。

再度REGISTRATION(レジストレーション)ボタンを押すと、レジストレーション選択状態を抜けて通常の演奏状態に戻ります。

2) レジストレーションに記憶する

設定を記憶する

REGISTRATION(レジストレーション)ボタンを長く押しながら、設定を記憶したい番号のレジストレーション選択ボタンを長く押します。



ディスプレイには、押されたレジストレーション選択ボタンのレジストレーション番号が表示され、「ピー」という音とともにレジストレーションに設定が記憶されます。押されたレジストレーション選択ボタンが点灯します。右の図は、ボタン1の1つめのレジストレーションを示しています。

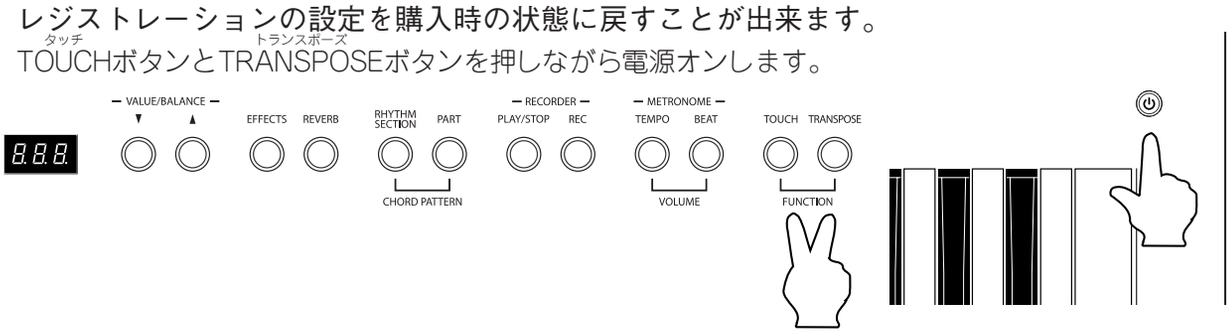
設定を2つめのレジストレーションに記憶したい場合は、REGISTRATION(レジストレーション)ボタンを押しながら、設定を記憶したい番号のレジストレーション選択ボタンを1度軽く押し、次に長く押します。

ディスプレイには、押されたレジストレーション選択ボタンの1つめのレジストレーション番号が表示され、次に2つめのレジストレーション番号が表示され、「ピー」という音とともにレジストレーションに設定が記憶されます。押されたレジストレーション選択ボタンが点灯します。右の図は、ボタン3の2つめのレジストレーションを示しています。

3) レジストレーションの設定を初期状態に戻す

レジストレーションの設定を購入時の状態に戻すことが出来ます。

TOUCH(タッチ)ボタンとTRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら電源オンします。



自動伴奏をバックにピアノ演奏する[リズムセクション]

1）リズムセクションについて

ポップスやロックなどをピアノ演奏する時に、従来のようにメトロノームやリズムを一緒に鳴らしても今ひとつ雰囲気が盛上らない、そんな時、バンド演奏のように、ドラムやベース、ギターを自動伴奏させながらピアノ演奏ができる機能です。
ドラムパターン、ベースライン、ギターカッティングの基本的な伴奏アレンジが、バックバンドのようにピアノ演奏をサポートします。また、ピアノ演奏をリラックスして楽しんでいただくために、フレーズパートがメロディ演奏の邪魔にならないよう配慮されています。

リズムセクション機能には、以下の3つの楽しみ方があります。

1. 左手でコード進行を演奏して、右手でメロディー演奏
2. コードパターン機能を使って、両手でピアノ演奏
3. お好みの曲のコード進行をレコーダーに録音して、両手でピアノ演奏

リズムの種類

基本パターンの8ビート、16ビートから、ポップス、ロック、バラード、ファンク、ダンス、ジャズ、ラテン、ワールドリズムまで幅広く、100種類のリズムを内蔵しています。詳しくは、リズム一覧(33ページ)をご覧ください。

パートの構成

以下の 4 パートで構成されています。ピアノパートはありません。

ドラム
ベース
ギター
その他(ストリングス、オルガン、シンセなど)　※このパートがなく、上記3パートで構成されている場合もあります。

アレンジの構成

以下の4つのアレンジで構成されています。また、各アレンジの小節数は一部を除き下記のようになっています。

アレンジ名	アレンジ内容	小節数
カウント(ドラムのみ)	ピアノ演奏を始めやすくするためのカウントです。	1あるいは2
ベーシック／バリエーション	ベーシックはシンプルに、バリエーションは曲を盛上げます。	4あるいは8
フィルイン	曲中で、メロディを繰り返す時などに入り、合図の役目をします。	1
エンディング	シンプルに、全パート一斉に終わります。	1

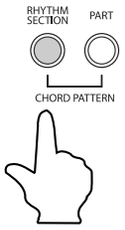
リズム一覧

ビート／音楽ジャンル	ディスプレイ表示	リズム名
16th　スウィング	r-1	ファンク　シャッフル　1
	r-2	ファンク　シャッフル　2
	r-3	ヒップ　ホップ　1
	r-4	ヒップ　ホップ　2
	r-5	ヒップ　ホップ　3
	r-6	ヒップ　ホップ　4
	r-7	16　シャッフル　1
	r-8	16　シャッフル　2
	r-9	16　シャッフル　3
16th　ファンク	r10	ファンキー　ビート　1
	r11	ファンキー　ビート　2
	r12	ファンキー　ビート　3
	r13	ファンク　1
	r14	ファンク　2
	r15	ファンク　3
16th　ストレート	r16	ジャズ　ファンク
	r17	16　ビート　1
	r18	16　ビート　2
	r19	16　ビート　3
	r20	16　ビート　4
	r21	リム　ビート
	r22	ロール　ビート
	r23	ライト　ライド　1
	r24	デキシー　ロック
16th　ラテン	r25	スルド　サンバ
	r26	ラテン　グルーブ
	r27	ライト　サンバ
	r28	ソンゴ
	r29	サンバ
	r30	メレンゲ
16th　ダンス／テクノ	r31	ファンキー　ビート　4
	r32	16　ビート　5
	r33	ディスコ　1
	r34	ディスコ　2
	r35	テクノ　1
	r36	テクノ　2
	r37	テクノ　3
	r38	ヘヴィ　テクノ
16th　バラード	r39	バラード　1
	r40	バラード　2
	r41	バラード　3
	r42	バラード　4
	r43	バラード　5
	r44	ライト　ライド　2
	r45	エレクトロ　ポップ　1
	r46	エレクトロ　ポップ　2
	r47	16　シャッフル　4
8th　バラード	r48	スロー　ジャム
	r49	スロー　ロック
	r50	R&B　バラード

ビート／音楽ジャンル	ディスプレイ表示	リズム名
8th　バラード	r51	トリプレット　50's　バラード
	r52	トリプレット　R&B　バラード
8th　ストレート	r53	8　ビート　1
	r54	8　ビート　2
	r55	スムース　ビート
	r56	ポップ　1
	r57	ポップ　2
	r58	ライド　ビート
	r59	スリップ　ビート
8th　ロック	r60	ジャズ　ロック
	r61	8　ビート　3
	r62	ロック　ビート　1
	r63	ロック　ビート　2
	r64	ロック　ビート　3
	r65	ロック　ビート　4
	r66	ブルース／ロック
	r67	ヘヴィ　ビート
	r68	ハード　ロック
	r69	サーフ　ロック
	r70	R&B
8th　スウィング	r71	モータウン　1
	r72	8th　ファースト　シャッフル
	r73	モータウン　2
	r74	ゴスペル　シャッフル
	r75	ラグタイム
	r76	カントリー&ウェスタン
トリプレット／ワルツ	r77	トリプレット　ロック　1
	r78	トリプレット　ロック　2
	r79	ベンベ
	r80	ロック　シャッフル
	r81	ブギー
	r82	トリプレット　1
	r83	トリプレット　2
	r84	レゲエ
	r85	ゴスペル　バラード
	r86	ワルツ
ジャズ	r87	H. H. スウィング
	r88	ライド　スウィング
	r89	ファースト　4　ビート
	r90	アフロ　キューバン
	r91	ジャズ　ワルツ　1
	r92	ジャズ　ワルツ　2
	r93	5／4　スウィング
ラテン	r94	H. H. ボサノバ
	r95	ライド　ボサノバ
	r96	ビギン
	r97	マンボ
	r98	チャ　チャ
	r99	タンゴ
	r00	ハバネラ

2）リズムセクションを鳴らす

1 リズムセクション機能をオンにする



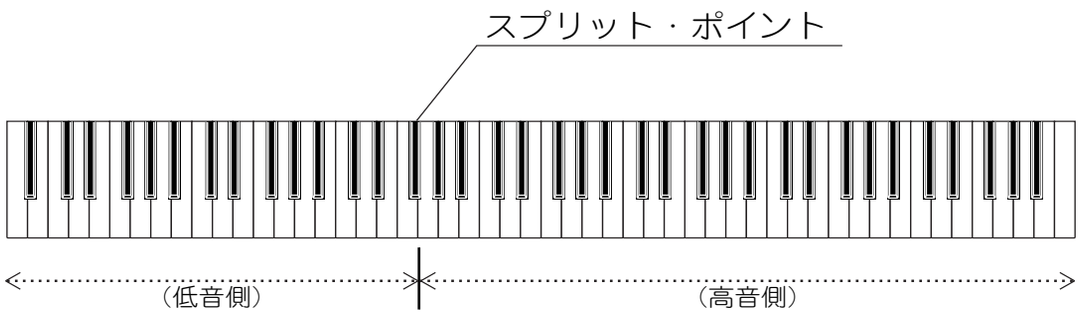
RHYTHM SECTION（リズムセクション）ボタンを押します。

RHYTHM SECTIONボタンが点灯し、自動伴奏状態になります。ディスプレイに先頭のリズム番号が表示されます。

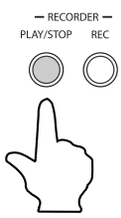
SPLIT（スプリット）ボタンが点灯し、低音側（F♯2から下）の鍵盤が、リズムセクションを演奏するのに必要なコード進行演奏用に切り換わります。鍵盤の演奏音は鳴りません。

低音側の鍵盤でコードを押さえると、ディスプレイにコード名が表示されます。

・対応しているコードの種類、押さえ方は、コード名一覧（63ページ）をご覧ください。



2 リズムセクションを演奏する



RECORDER（レコーダー）のPLAY/STOP（プレイ／ストップ）ボタンを押します。

PLAY/STOPボタンが点灯し、ディスプレイにカウントダウンの数字が表示され、ドラムによるカウントが始まります。カウント演奏後ベーシック／バリエーションに切り替わります。

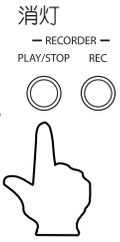
ファンクションで、オートフィルイン機能が所定の小節に設定されていれば（48ページ参照）、ベーシック／バリエーション切り替り後から設定された小節毎にフィルインが演奏されます。

低音側（F♯2から下）でコード進行演奏、高音側でメロディ演奏などが出来ます。

・低音側でのコード進行演奏は、リズムセクションをメロディ演奏に合わせて伴奏させるために必要で、コード進行演奏音自体は鳴りません。低音側でのコード進行演奏を鳴らしたい、あるいはリズムセクションの伴奏に合わせて88鍵全体を使って自由にピアノ演奏したい場合には、レコーダー機能を併用してください。（26ページ参照）
・対応しているコードの種類、押さえ方は、コード名一覧（63ページ）をご覧ください。

・スプリット機能（14ページ参照）は、リズムセクション機能使用時は利用できません。デュアル機能（13ページ参照）は利用できます。
・オートフィルインの工場出荷時の設定は8小節です。

3 リズムセクションの演奏を止める

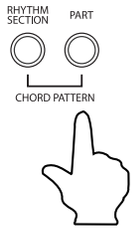


RECORDERのPLAY/STOPボタンを押します。

再度RECORDERのPLAY/STOPボタンを押すと、小節の先頭で、1小節のエンディングが演奏された後、PLAY/STOPボタンが消灯し、リズムセクションの演奏が停止します。

特定のパートだけを演奏する

PART（パート）ボタンを押します。
押す回数により、次のようにPARTボタンのランプの状態とパート編成が変わります。



ランプ点灯　：　ドラム、ベース
ランプ点滅　：　ドラムのみ
ランプ消灯　：　ドラム、ベース、ギター、その他（ストリングス、オルガンなど）

・ドラムのみに設定し、88鍵全体を使って自由にピアノ演奏したい場合には、下記「スプリットポイントを変更する」の方法で、一番下の鍵盤を指定してください。

リズムを変更する

VALUE/BALANCE（バリュー／バランス）ボタンの▲、▼のいずれかを押します。
▲、▼を押すたびに、ディスプレイに表示されたリズム番号がｒ.-1、r-2、ｒ.-2と変わります。また、リズムセクション演奏時には、押したタイミングからフィルイン・セクションが鳴り、次の小節で変更したベーシック／バリエーション・セクションに切り替ります。

・VALUE/BALANCEボタンを押したままにすると、より速やかにリズムを切替えることができます。
・リズム番号の“r”はベーシック／バリエーション・セクションが、ベーシック・セクションであることを意味しています。また、リズム番号が“ｒ.”で始まる場合は、バリエーション・セクションを意味しています。バリエーション・セクションは、演奏する曲をより盛り上げたい時に使うと効果的です。
・リズムセクションの種類は、リズム一覧（33ページ）をご覧ください。

リズムのビート／音楽ジャンルを変更する

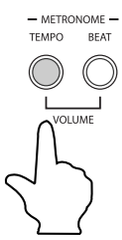
RHYTHM SECTION（リズム／セクション）ボタンを押しながらVALUE/BALANCE（バリュー／バランス）ボタンの▲、▼のいずれかを押します。
▲、▼を押すたびに、ビート／音楽ジャンルが切り替わり、ディスプレイにそのビート／音楽ジャンルの先頭リズム番号が表示されます。また、押したタイミングからフィルイン・セクションが鳴り、次の小節で変更したベーシック／バリエーション・セクションに切り替ります。

・ビート／音楽ジャンルの種類は、リズム一覧（33ページ）をご覧ください。

テンポを変更する

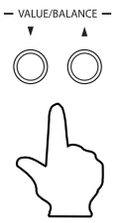
1 *テンポ設定の準備*

TEMPO（テンポ）ボタンを押します。
TEMPOボタンが点灯し、現在のテンポがディスプレイに表示されます。



2 *テンポを調節する*

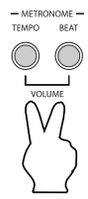
VALUE/BALANCE（バリュー／バランス）ボタンの▲、▼のいずれかを押します。



・それぞれのリズムには、あらかじめ適正テンポが設定してあります。ただし、リズムセクションの演奏中にリズムを変更した場合には適正テンポに変更されず、変更前のリズムのテンポのまま演奏されます。

再度TEMPOボタンを押すと、TEMPOボタンが消灯し、設定状態から抜けます。

リズムセクションの音量を変更する



1 音量設定の準備

METRONOME（メトロノーム）のTEMPO（テンポ）とBEAT（ビート）ボタンを同時に押します。

TEMPOボタンとBEATボタンが点灯し、音量設定が可能になります。

2 音量を調節する

VALUE/BALANCE（バリュー／バランス）ボタンの▲、▼のいずれかを押します。

音量がディスプレイに表示されます。

TEMPOとBEATボタンを同時に押すと、設定を終了します。

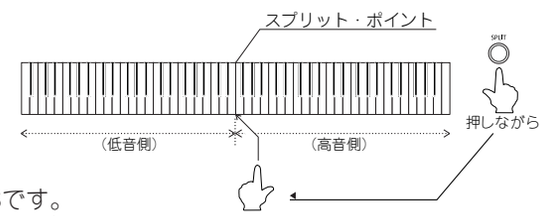
スプリットポイントを変更する

■ スプリットポイントを変更する

スプリットポイントにより、リズムセクションを伴奏させるために必要なコード進行演奏を認識する音域を変更することが出来ます。

SPLITボタンを押しながら鍵盤を押します。

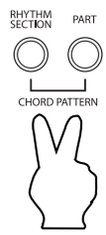
押した鍵盤より1つ下からが、リズムセクション演奏のために必要なコード進行演奏用鍵盤になります。



・工場出荷時の設定値はG2の鍵盤です。　※中央のC（ド）はC3です。
・スプリットポイントの設定値は、通常のスプリット機能と共通です。

3）コードパターン機能を使う

低音側（F♯2から下）でコード進行演奏しなくても、コードパターン機能を使うことで、リズムセクションを所定のコード進行に沿って伴奏させることが出来ます。また、それに合わせて88鍵全体を使って自由にピアノ演奏することが出来ます。



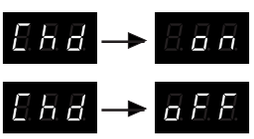
RHYTHM SECTION（リズム　セクション）とPART（パート）ボタンを同時に押します。

ディスプレイに“Chd”、“　on”と表示されます。

SPLITボタンが消灯し、88鍵全体を使って自由にピアノ演奏することが出来ます。

コードパターン機能がオンだった場合には、ディスプレイに“Chd”、“ｏＦＦ”と表示されます。

SPLITボタンが点灯し、低音側（F♯2から下）の鍵盤が、リズムセクションを演奏するのに必要なコード進行演奏用に切り換わります。鍵盤の演奏音は鳴りません。

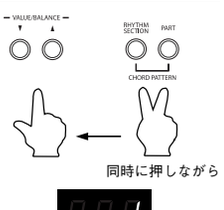


・それぞれのリズムには、あらかじめ適正コードパターンが設定してあります。コードパターンの種類は、コードパターン一覧（67ページ）をご覧ください。
・コードパターン機能がオンの時はオートフィルイン機能（48ページ参照）は無効になり、コードパターンの最終小節で自動的にフィルインに切り替わります。

コードパターンを変更する

RHYTHM SECTION（リズム　セクション）とPART（パート）ボタンを同時に押しながら、VALUE/BALANCE（バリュー／バランス）ボタンの▲、▼のいずれかを押します。

コードパターン番号がディスプレイに表示されます。



・コードパターンの種類は、コードパターン一覧（67ページ）をご覧ください。

4）その他の機能を使う

お好みのコード進行演奏を録音し、録音したコード進行に沿ってリズムセクションを演奏させることが出来きるレコーダー機能の他、お気に入りのパネル設定を記憶するレジストレーション機能や指１本で鍵盤を押さえるだけでソロフレーズを簡単に演奏することができるワンフィンガーアドリブ®機能があります。

レコーダーに録音する

低音側(F♯2から下)でのコード進行演奏をレコーダーに録音しておくと、レコーダー機能を使う際、録音したコード進行に沿ってリズムセクションを演奏させることが出来ます。また、88鍵全体を使って自由にピアノ演奏することが出来ます。
以下の設定が、レコーダー機能を使って録音することができます。録音方法は、26ページ「演奏・録音の再生～1)録音する」をご覧下さい。

- リズムセクション機能オン／オフ
- リズム番号
- パート設定
- テンポ
- リズムセクション音量
- 低音側でのコード進行演奏
- コードパターン番号
- コードパターンオン／オフ

・リズム番号とコード進行演奏は録音途中の変更も記録しますが、それ以外は、録音開始直前の設定のみが記録されます。
・上記は、レコーダーのパート1にのみ録音できます。
・リズムセクション機能使用中は、レコーダー録音のみ利用できます。レコーダー再生をする場合は、リズムセクション機能を終了してからRECODERのPLAY/STOPボタンを押して下さい。

レジストレーションに記憶する

以下の設定は、レジストレーションに記憶することが出来ます。(30ページ参照)

- リズム番号
- パート設定
- テンポ
- リズムセクション音量
- コードパターン番号
- コードパターンオン／オフ

ワンフィンガーアドリブ機能を使う

ワンフィンガーアドリブとは、指1本で、鍵盤を押している間だけコード進行演奏に合ったソロフレーズを簡単に演奏することができる機能です。ファンクション(38ページ参照)で、ワンフィンガーアドリブ機能がオンに設定されていれば、いつでも利用することができます。右端の17鍵にそれぞれ違ったフレーズが1小節ずつ割当てられていますので、リズムセクションに合わせて自由に組合せて演奏することが出来ます。

・工場出荷時の設定はオンです。

各種設定[ファンクション]

1）設定の種類

この章では、本機をさらに発展させて使う設定モードの機能（ファンクション）を紹介します。
設定モードには下表の項目があります。

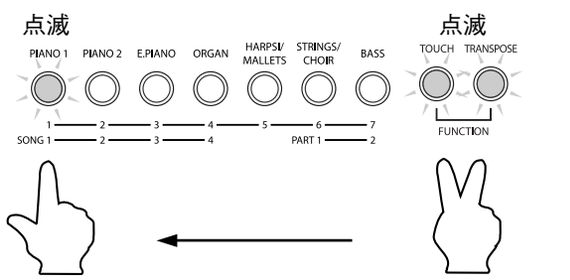
パネルボタン	1度押し			2度押し		
	機能名	ディスプレイ表示	説明ページ	機能名	ディスプレイ表示	説明ページ
PIANO 1	ブリリアンス *	bri	39	MIDI送受信チャンネル	Chn	53
PIANO 2	チューニング *	tun	40	プログラムナンバー送信	PGo	54
E.PIANO	ボイシング *	Voc	41	ローカルコントロール	LcL	55
ORGAN	ダンパーエフェクト *	dEF	42	プログラムナンバー送信ON/OFF	PGn	56
HARPSI/MALLETS	ストリングレゾナンス *	Str	43	マルチティンバー・モード	nLt	59
STRINGS/CHOIR	音律 *	tnP	44	チャンネルミュート	-	60
BASS	ロアーオクターブシフト *	Lot	45	ロアーペダルON/OFF *	LPd	46
	ダンパーホールドON/OFF *（3度押し）				dnP	47
EFFECTS	オートフィルイン *	FiL	48	ワンフィンガーアドリブON/OFF *	oFA	49
REVERB	（イコライザー）	EQ	19	メモリー・バックアップ	nEn	50

表中の“*”の機能は、レジストレーションに記憶することができます。（31ページ参照）

■ 設定モードの基本的な操作方法

1 設定モードに入る

FUNCTION（ファンクション）ボタン（TOUCH（タッチ）ボタンとTRANSPOSE（トランスポーズ）ボタン）を押しながら、メニューが割り当てられている音色ボタンを押します。
1つの音色ボタン2つのメニューが割り当てられており、音色ボタンを繰り返し押すことでメニューを選択することができます。



2 設定を変更する

各メニューの設定は、VALUE（バリュー）ボタンで変更します。

3 設定モードから抜ける

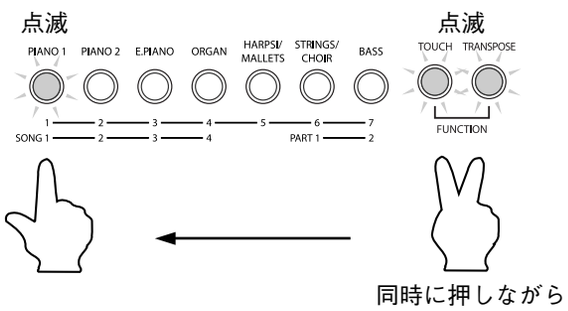
TOUCH（タッチ）ボタン、TRANSPOSE（トランスポーズ）ボタン、EFFECTS（エフェクト）ボタン、REVERB（リバーブ）ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

2）音の明るさを変える[ブリリアンス]

音の明るさを変えて演奏することができます。

1 ブリリアンスの設定準備

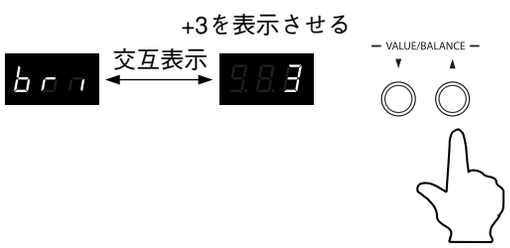
TOUCH(タッチ)ボタンとTRANSPOSE(トランスポーズ)を押しながら、PIANO1(ピアノ)ボタンを押します。
TOUCHボタンとTRANSPOSEボタンとPIANO1ボタンが点滅し、現在の設定が表示されます。



2 設定を変更する

VALUE(バリュー)ボタンを押して設定します。
-10～+10の範囲で設定できます。
-側の値にするほど暗い音になり、+側の値にするほど明るい音になります。

例: +3を選ぶ



・工場出荷時の設定値は0です。
・メモリー・バックアップ機能(50ページ参照)を使って、設定値を記憶させておくことができます。

3 設定モードから抜ける

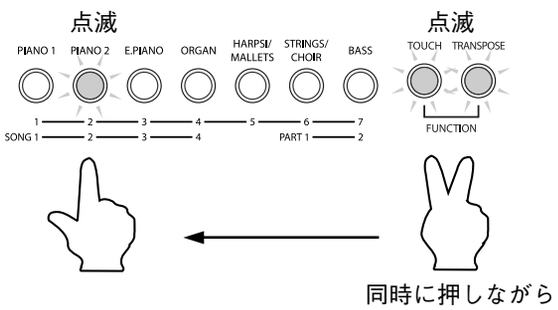
TOUCH(タッチ)ボタン、TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタン、EFFECTS(エフェクト)ボタン、REVERB(リバーブ)ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

3）音程を微調整する[チューニング]

他の楽器と合奏したり、CDなどの再生音に合わせて演奏するときに、ピッチ（音程）を合わせることができます。A3の音を基準にして、427.0～453.0Hzの範囲、0.5Hz単位で設定できます。

1 チューニングの設定準備

TOUCH（タッチ）ボタンと、TRANSPOSE（トランスポーズ）ボタンを押しながら、PIANO2（ピアノ）ボタンを押します。
TOUCHボタンとTRANSPOSEボタンとPIANO2ボタンが点滅し、現在の設定が表示され、現在の基準音が発音されます。

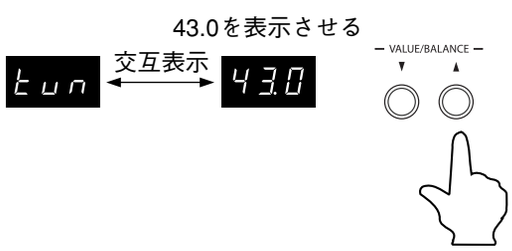


2 設定を変更する

VALUE（バリュー）ボタンを押して設定します。

A3の音を基準にして、427.0～453.0Hzの範囲、0.5Hz単位で設定できます。表示は、百の位が省略されて十の位以下が表示されます。値を大きくするほど音程が高くなります。

例: 443.0Hzを選ぶ



・工場出荷時の設定値は440.0Hzです。
・メモリー・バックアップ機能（50ページ参照）を使って、設定値を記憶させておくことができます。

3 設定モードから抜ける

TOUCH（タッチ）ボタン、TRANSPOSE（トランスポーズ）ボタン、EFFECTS（エフェクト）ボタン、REVERB（リバーブ）ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

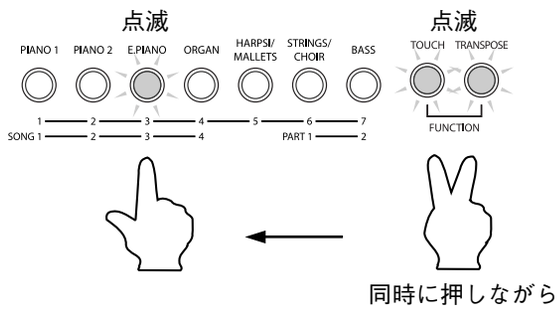
4) 音色のニュアンスを変える[ボイシング]

アコースティックピアノは、ピアノ内部のハンマーフェルトの堅さの違いによっても、音色のニュアンスが微妙に異なるものです。本機のボイシング機能では、これと同様に音色のニュアンスを変えることができます。

種　類	ディスプレイ表示	機　能
ノーマル	nrn	標準の設定です。
メロウ1、2	ML 1,ML2	柔らかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色です。
ダイナミック	dyn	弱く弾いたときはソフトな音色、強く弾いたときはブライトな音色。ダイナミックに変化します。
ブライト1、2	br 1,br2	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色です。

1 ボイシングの設定準備

TOUCH(タッチ)ボタンとTRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら、E.PIANO(イーピアノ)ボタンを押します。
TOUCHボタンとTRANSPOSEボタンとE.PIANOボタンが点滅し、現在の設定が表示されます。

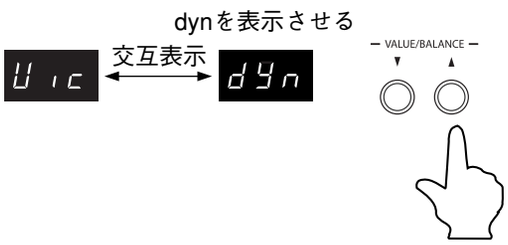


2 設定を変更する

VALUE(バリュー)ボタンを押して設定します。
6種類の中から選択できます。

・工場出荷時の設定はノーマルです。
・メモリー・バックアップ機能(50ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。

例: ダイナミックを選ぶ



3 設定モードから抜ける

TOUCH(タッチ)ボタン、TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタン、EFFECTS(エフェクト)ボタン、REVERB(リバーブ)ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

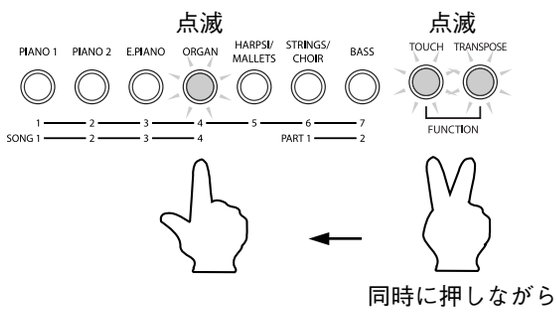
5) ダンパーペダルの共鳴効果を変える[ダンパーエフェクト]

アコースティックピアノでは、ダンパーペダル(10ページ参照)を踏んだとき、ピアノ全体の共鳴効果が加わります。本機のダンパーエフェクト機能では、これと同様に共鳴効果の深さを変えることができます。

種　類	ディスプレイ表示	機　　能
オフ	oFF	共鳴音は加わりません。
1	1	共鳴効果が浅くかかります。
	.	
	.	
	.	
10	10	共鳴効果が深くかかります。

1 ダンパーエフェクトの設定準備

TOUCH(タッチ)ボタンとTRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら、ORGAN(オルガン)ボタンを押します。
TOUCHボタンとTRANSPOSEボタンとORGANボタンが点滅し、現在の設定が表示されます。

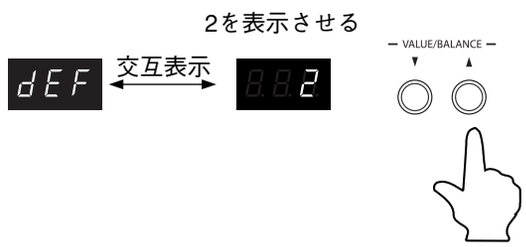


2 設定を変更する

VALUE/BALANCE(バリュー/バランス)ボタンを押して設定します。
off, 1～10の範囲で設定できます。

・工場出荷時の設定は5です。
・メモリー・バックアップ機能(50ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。

例:2を選ぶ



3 設定モードから抜ける

TOUCH(タッチ)ボタン、TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタン、EFFECTS(エフェクト)ボタン、REVERB(リバーブ)ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

6）ピアノの弦の共鳴効果を変える【ストリングレゾナンス】

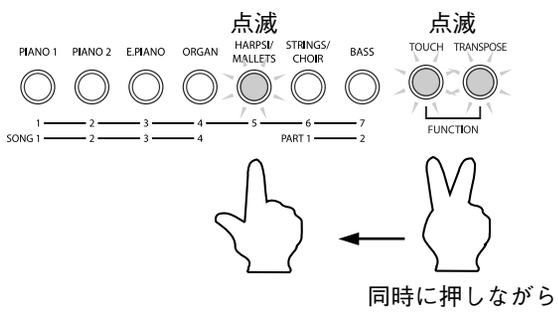
アコースティックピアノでは、ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生して音がでます。本機のストリングレゾナンス機能では、これと同様に共鳴効果の深さを変えることができます。

種　類	ディスプレイ表示	機　　能
オフ	oFF	共鳴音は加わりません。
1	1	共鳴効果が浅くかかります。
	・	
	・	
	・	
10	10	共鳴効果が深くかかります。

1 ストリングレゾナンスの設定準備

TOUCH（タッチ）ボタンとTRANSPOSE（トランスポーズ）ボタンを押しながら、HARPSI/MALLETS（ハープシ／マレッツ）ボタンを押します。

TOUCHボタンとTRANSPOSEボタンとHARPSI/MALLETS（ハープシ／マレッツ）ボタンが点滅し、現在の設定が表示されます。



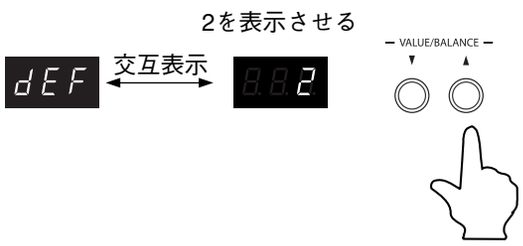
2 設定を変更する

VALUE/BALANCE（バリュー／バランス）ボタンを押して設定します。

off，1～10の範囲で設定できます。

・工場出荷時の設定は5です。
・メモリー・バックアップ機能（50ページ参照）を使って、設定を記憶させておくことができます。

例:2を選ぶ



3 設定モードから抜ける

TOUCH（タッチ）ボタン、TRANSPOSE（トランスポーズ）ボタン、EFFECTS（エフェクト）ボタン、REVERB（リバーブ）ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

7) 音律を変える

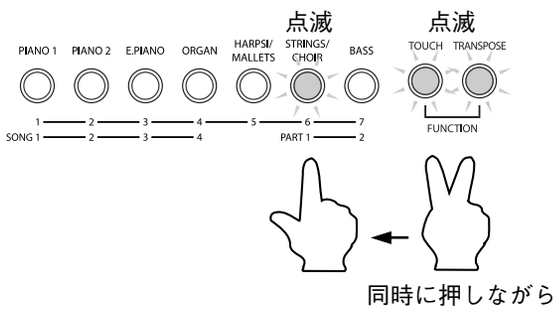
ピアノの音律(調律法)には様々なものがあります。現在最も一般的な音律は平均律ですが、平均律が完成するまでには、様々な音律と音楽が誕生しました。ES6には9種類の音律が用意されています。その当時の音律に合わせて演奏すれば、その曲が誕生したときの響きを味わうことができます。

種　類	ディスプレイ表示	機　　能
平均律(ピアノ)	EqP	ピアノの音色を選んだ場合はピアノの調律曲線に従い、それ以外の音色を選んだ場合は平均律(フラット)に従います。
純正律(長調)	Pr 1	3度と5度のうなりをなくした調律法です。合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。
純正律(短調)	Pr2	純正律は長調と短調で異なります。 長調と同様の特長を持ちます。
ピタゴラス音律	PyE	5度のうなりをなくした調律法です。和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特長です。
中全音律	MnE	3度のうなりをなくした調律法で、平均律よりも和音が美しく響きます。
ヴェルクマイスター第Ⅲ法	WrE	調合の少ない調は和音が美しい中全音律に近く、調号が増えるに従って緊張感が高くメロディーが美しいピタゴラス音律に近い音律です。古典音楽の作曲家が意図した“調正の性格“を反映させることができます。
キルンベルガー第Ⅲ法	Krn	
平均律(フラット)	EqF	ピアノの調律曲線を使わない平坦な平均律です。どのように移調しても、和音の響きが変わらないという特長があります。
平均律(ストレッチ)	EqL	ピアノの調律曲線を使った平均律です。ピアノの調律法として最もポピュラーなものです。

1 音律の設定準備

TOUCH(タッチ)ボタンとTRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら、STRING/CHOIR(ストリング/クワイア)ボタンを押します。

TOUCHボタンとTRANSPOSEボタンとSTRINGボタンが点滅し、現在の設定が表示されます。

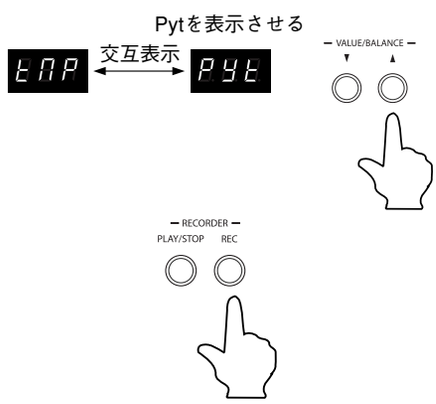


2 設定を変更する

VALUE/BALANCE(バリュー/バランス)ボタンを押して設定します。

9種類の中から選択できます。

例: ピタゴラス音律を選ぶ

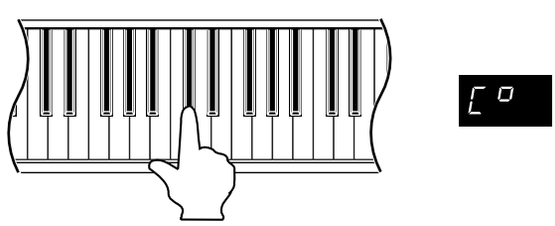


3 演奏する曲の調を指定する

鍵盤を押して設定します。

C、C#、D、D#、E、F、F#、G、G#、A#、Bの中から選択できます。ただし、平均律を選択した場合は、調を指定する必要はありません。

例:C#を選ぶ



・工場出荷時の設定は平均律(ピアノ)およびCです。
・メモリー・バックアップ機能(50ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。

4 設定モードから抜ける

TOUCH(タッチ)ボタン、TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタン、EFFECTS(エフェクト)ボタン、REVERB(リバーブ)ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

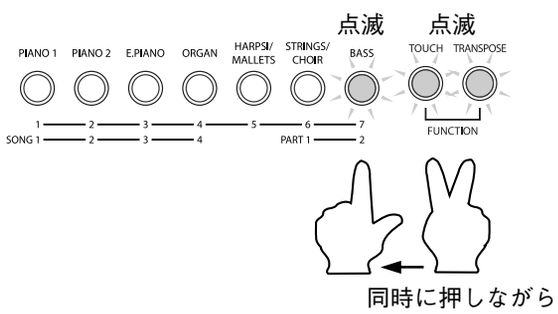
8) スプリット演奏の音域を上げる[ロアーオクターブシフト]

スプリット演奏時(14ページ参照)に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で上げることができます。

1 ロアーオクターブシフトの設定準備

TOUCH(タッチ)ボタンとTRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら、BASS(ベース)ボタンを押します。

TOUCH、TRANSPOSE、BASSボタンが点滅し、現在の設定が表示されます。

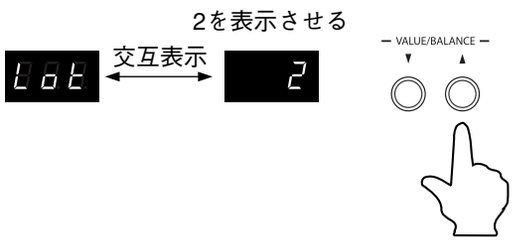


2 設定を変更する

VALUE/BALANCE(バリュー／バランス)ボタンを押して設定します。

0～3の範囲で設定できます。

例：2を選ぶ



・工場出荷時の設定は0です。
・メモリー・バックアップ機能(50ページ参照)を使って、設定値を記憶させておくことができます。

3 設定モードから抜ける

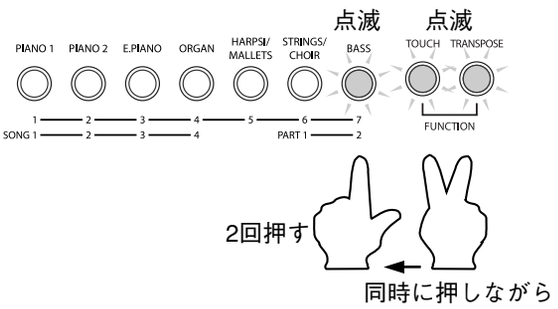
TOUCH(タッチ)ボタン、TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタン、EFFECTS(エフェクト)ボタン、REVERB(リバーブ)ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

9）スプリット演奏のペダルを設定する[ロアーペダル オン／オフ]

スプリット演奏時（14ページ参照）にペダルを使用した際、低音側音域の音にペダル機能のオン/オフを設定できます。高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。

1 ロアーペダル オン/オフの設定準備

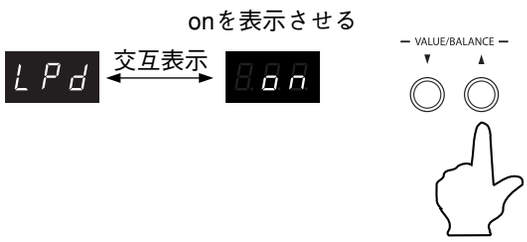
TOUCH（タッチ）ボタンとTRANSPOSE（トランスポーズ）ボタンを押しながら、BASS（ベース）ボタンを2回押します。
TOUCH、TRANSPOSE、BASSボタンが点滅し、現在の設定が表示されます



2 設定を変更する

VALUE/BALANCE（バリュー／バランス）ボタンを押して設定します。
オンにすると、ペダルを踏んで演奏した際に低音側鍵盤の音にもペダル機能がはたらきます。
オフに設定すると、低音側鍵盤の音にはペダル機能がはたらかず、高音側鍵盤の音のみペダル機能がはたらきます。

例：オンを選ぶ



・工場出荷時の設定はオフです。
・メモリー・バックアップ機能（50ページ参照）を使って、設定値を記憶させておくことができます。
・ダンパーエフェクト（42ページ参照）はロアーペダルのオン/オフの設定にかかわらずはたらきます。

3 設定モードから抜ける

TOUCH（タッチ）ボタン、TRANSPOSE（トランスポーズ）ボタン、EFFECTS（エフェクト）ボタン、REVERB（リバーブ）ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

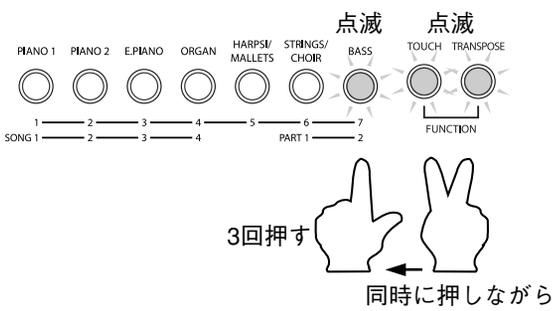
10)ダンパーペダルにより音を持続させる [ダンパーホールド オン／オフ]

ストリングアンサンブルのような持続音色(鍵盤を押しつづけている間、鳴りつづける音色)に対して、ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いた時、鍵盤から手を離した後も音を持続させることができます。

1 ダンパーホールド オン／オフの設定準備

TOUCH(タッチ)ボタンとTRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら、BASS(ベース)ボタンを3回押します。

TOUCH、TRANSPOSE、BASSボタンが点滅し、現在の設定が表示されます。



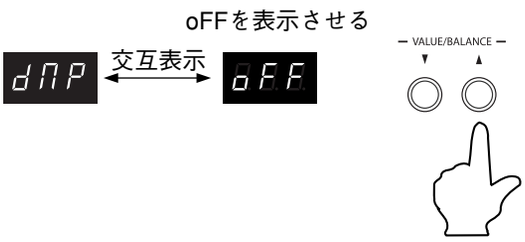
2 設定を変更する

VALUE/BALANCE(バリュー／バランス)ボタンを押して設定します。

オンにするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離した後も音が持続します。オフにするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離した後、音が減衰します。

・工場出荷時の設定は**オフ**です。
・メモリー・バックアップ機能(50ページ参照)を使って、設定値を記憶させておくことができます。

例：オフを選ぶ



3 設定モードから抜ける

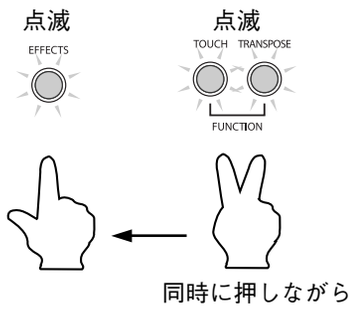
TOUCH(タッチ)ボタン、TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタン、EFFECTS(エフェクト)ボタン、REVERB(リバーブ)ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

11）リズムセクション演奏にフィルインを入れる [オートフィルイン]

リズムセクション機能（32ページ参照）において、リズムセクションの演奏中に自動的にフィルインを入れるかどうかを設定することができます。

1 オートフィルインの設定準備

TOUCH（タッチ）ボタンとTRANSPOSE（トランスポーズ）ボタンを押しながら、EFFECTS（エフェクト）ボタンを押します。
TOUCH、TRANSPOSE、EFFECTSボタンが点滅し、現在の設定が表示されます。

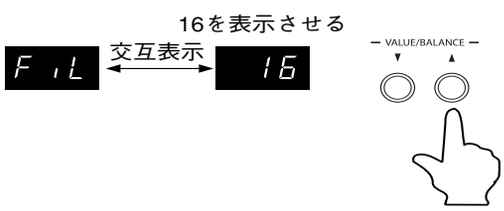


2 設定を変更する

VALUE/BALANCE（バリュー／バランス）ボタンを押して設定します。
4, 8, 12, 16, offのいずれかが設定できます。

ベーシック／バリエーション演奏時に、設定された小節毎にフィルインが演奏されます。offを設定した場合は、フィルインは演奏されません。

例：16を選ぶ



・工場出荷時の設定は8です。
・メモリー・バックアップ機能（50ページ参照）を使って、設定値を記憶させておくことができます。

3 設定モードから抜ける

TOUCH（タッチ）ボタン、TRANSPOSE（トランスポーズ）ボタン、EFFECTS（エフェクト）ボタン、REVERB（リバーブ）ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

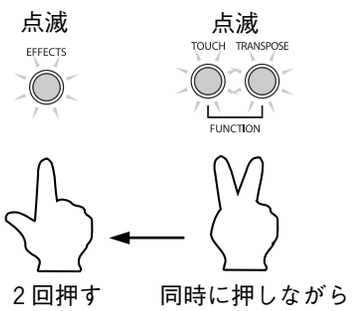
12) リズムセクション演奏にソロフレーズを加える [ワンフィンガーアドリブ® オン／オフ]

ワンフィンガーアドリブ®とは、指１本で、鍵盤を押している間だけコード演奏に合ったソロフレーズを簡単に演奏することができる機能です。右端の１７鍵にそれぞれ違ったフレーズが１小節ずつ割当てられていますので、リズムセクションに合わせて自由に組合せて演奏することが出来ます。

1 ワンフィンガーアドリブ®の設定準備

TOUCH(タッチ)ボタンとTRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら、EFFECTS(エフェクト)ボタンを2回押します。

TOUCH、TRANSPOSE、EFFECTSボタンが点滅し、現在の設定が表示されます。



2 設定を変更する

VALUE/BALANCE(バリュー／バランス)ボタンを押して設定します。

onにすると、ワンフィンガーアドリブ機能が利用できます。offに設定した場合は、通常の鍵盤演奏ができます。

例：オフを選ぶ

・工場出荷時の設定はオンです。
・メモリー・バックアップ機能(50ページ参照)を使って、設定値を記憶させておくことができます。

3 設定モードから抜ける

TOUCH(タッチ)ボタン、TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタン、EFFECTS(エフェクト)ボタン、REVERB(リバーブ)ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

13) 設定を記憶させる[メモリー・バックアップ]

パネル上の各種設定を、記憶(バックアップ)することができます。電源を入れると、記憶させた状態で演奏できるようになります。

記憶されるのは次の項目です。

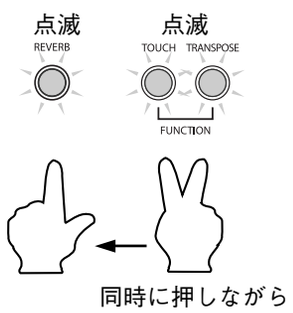
・音色の選択
・音色ごとの効果(リバーブ、エフェクト)の設定
・イコライザーの設定
・各種設定[ファンクション]で設定した内容
・トランスポーズの設定
・メトロノームの拍子、テンポ、音量
・タッチカーブの設定

種　類	ディスプレイ表示	機　　能
リセット	rES	電源を入れたときに、工場出荷時の状態に戻ります。
ユーザー	uSr	メモリー･バックアップ実行時のパネル上の設定を記憶します。 電源を入れたときに、記憶した状態になります。

1 メモリーバックアップの設定準備

TOUCH(タッチ)ボタンとTRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら、REVERB(リバーブ)ボタンを2回押します。

TOUCHボタンとTRANSPOSEボタンとREVERBボタンが点滅します。



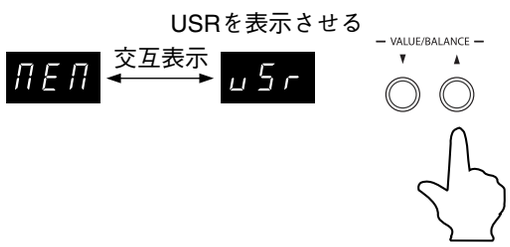
2 設定を変更する

VALUE/BALANCE(バリュー/バランス)ボタンを押して設定します。

注) 表示を設定しただけでは記憶されません。
必ず **3** を実行してください。

rES は uSr で設定を記憶した状態のときのみ選択できます。

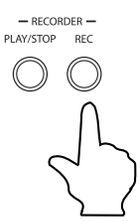
例:　ユーザーを選ぶ



3 リセットかユーザーを記憶する

REC(レック)ボタンを押します。

メモリー・バックアップが実行されます。



4 設定モードから抜ける

TOUCH(タッチ)ボタン、TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタン、EFFECTS(エフェクト)ボタン、REVERB(リバーブ)ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

が表示され、メモリー･バックアップが実行される。

14）MIDI（ミディ）機能を使う

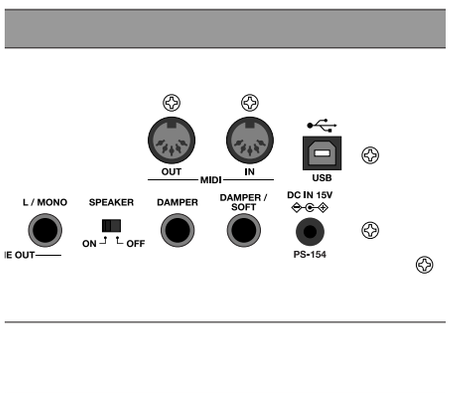
本機にはMIDI機能があります。MIDI機能を使うと、他のMIDI機器と様々なやりとりが可能です。

MIDI（ミディ）について

MIDIとは、Musical Instrument Digital Interface（ミュージカルインストゥルメント デジタル インターフェース）の略称で、MIDI端子を装備した楽器や周辺機器、コンピュータと接続して、演奏情報や各種の命令を送受信するための世界統一規格です。

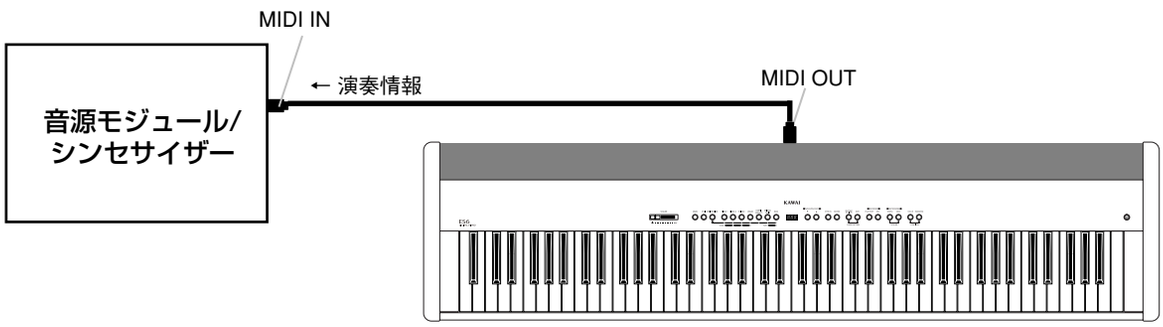
本機のMIDI端子には、MIDI INとMIDI OUTの2種類あります。他の機器との接続にはMIDIケーブルを使用します。

MIDI IN　：演奏情報や各種の命令を受信します。
MIDI OUT ：演奏情報や各種の命令を送信します。

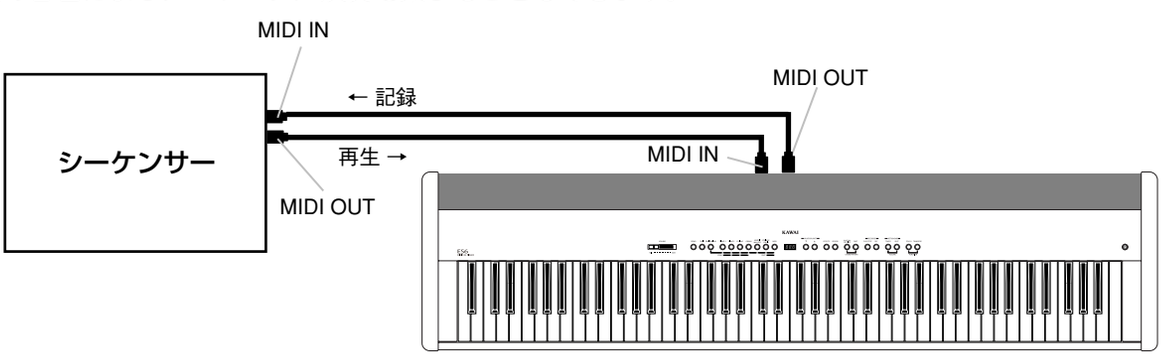


■ MIDI接続例

図のように音源モジュールやシンセサイザーを接続すると、本機で弾いた情報（どの鍵盤をどの程度の強さで弾いたか）が、そのまま接続された機器に伝わり、それらの機器の音と本機の音を重ねて出すことができます。



また、シーケンサーと接続すれば、さらに多くの演奏をシーケンサーに音情報として記録することができ、それを再生することによって練習に役立てることができます。
本機の設定をマルチティンバー･モード･オンにして再生を行えば、ピアノ、ハープシコード、ビブラホンなどの複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむこともできます。



MIDI（ミディ）機能

本機のMIDI機能は、以下の通りです。

◆ 鍵盤情報の送信･受信
本機を弾いてシンセサイザーなどから音を出したり、その逆が可能です。

◆ 送受信チャンネルの設定
送受信チャンネルを1～16の範囲で設定することができます。

◆ プログラム（音色）ナンバーの送信
本機とMIDI接続した機器の音色を、本機側の操作で変えたり、その逆が可能です。

◆ ペダル情報の送信・受信
付属のフットペダル（F-10H）の接続時に、ダンパーペダルのオン/オフ情報を送受信できます。
別売のフットペダル（F-20：2本ペダル）を使用すれば、ソフトペダルのオン/オフ情報も送受信できます。

◆ ボリューム情報の受信
シンセサイザーなどを弾いて本機の音を出しているとき、シンセサイザーで本機の音量をコントロールすることができます。

◆ マルチティンバー･モードの使用
本機をマルチティンバー･モード オンにすると、複数の異なるチャンネルの鍵盤情報を受信して、それぞれ別の音色で鳴らすことができます。

◆ エクスクルーシブデータの送信･受信
パネル操作や各種設定モードで設定した値を、エクスクルーシブデータとして送受信させることができます。

◆ レコーダーの再生情報の送信
本機のレコーダーに録音した演奏を、MIDI接続した電子楽器側で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音することができます。
メトロノームやデモ曲データは、MIDI送信されません。

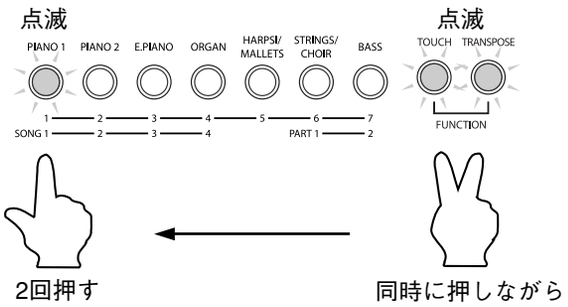
MIDI送受信チャンネルの設定

接続するMIDI機器と演奏情報や各種の命令をやりとりするためには、送信側の送信チャンネルと受信側の受信チャンネルを一致させておく必要があります。
本機では、送信･受信共通のチャンネルを設定するようになっています。

※工場出荷時の設定は1(オムニ･オン、送信チャンネルは1)の状態になっています。オムニ･オンは、1～16チャンネルすべての情報を受信できる状態です。MIDI送受信チャンネルの設定を行うとオムニ･オフになり、設定したチャンネルの情報のみ受信するようになります。

1 *MIDI送受信チャンネルの設定準備*

TOUCHボタンとTRANSPOSEボタンを押しながら、PIANO1ボタンを2回押してPIANO1ボタンを点滅させます。
現在の設定が表示されます。

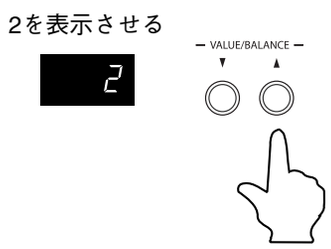


2 *設定を変更する*

VALUE/BALANCEボタンを押して設定します。
1～16チャンネルの範囲で指定できます。

・メモリー･バックアップ機能(50ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。

例: チャンネル2を選ぶ



3 *設定モードから抜ける*

TOUCHボタン、TRANSPOSEボタン、EFFECTSボタン、REVERBボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

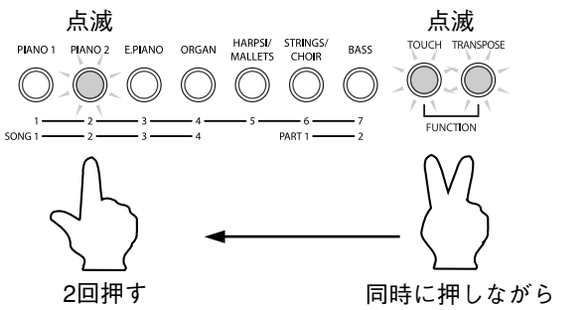
プログラムナンバーを送信する

ES6でプログラム(音色)ナンバー送信の操作をして、外部機器の音色を切り替えることができます。

・1～128の範囲でプログラムナンバーを送信できます。
・56ページで紹介する「プログラムナンバー送信 オン/オフの設定」に影響されることはありません。

1 *プログラムナンバーの指定準備*

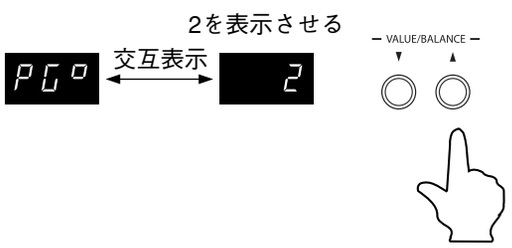
TOUCH(タッチ)ボタンとTRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら、PIANO2(ピアノ)ボタンを2回押してPIANO2(ピアノ)ボタンを点滅させます。



2 *プログラムナンバーを指定する*

VALUE/BALANCE(バリュー/バランス)ボタンを押して指定します。
1～128の範囲で指定できます。

例: プログラムナンバー2を選ぶ



3 *プログラムナンバーを送信する*

VALUE/BALANCE(バリュー/バランス)ボタンを2つ同時に押します。
プログラムナンバーが送信されます。

4 *設定モードから抜ける*

TOUCH(タッチ)ボタン、TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタン、EFFECTS(エフェクト)ボタン、REVERB(リバーブ)ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

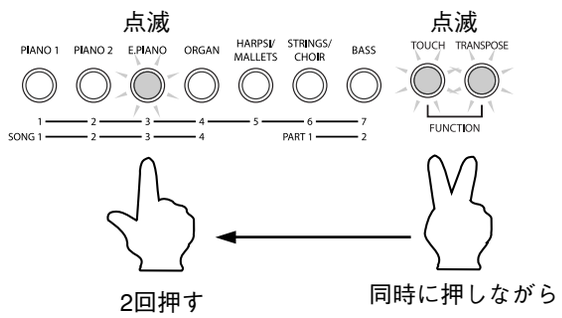
ローカルコントロール オン/オフの設定

本機の演奏音を本機で出すか出さないかを指定できます。
ローカルコントロール オンを指定すると、本機の鍵盤を弾くと通常通り本機から音が出ます。
ローカルコントロール オフを指定すると、本機の鍵盤を弾いても本機から音が出なくなります。
本機の演奏音を外部機器側だけで鳴らしたいときは、ローカルコントロール オフを指定してください。

・ローカルコントロール オフを指定した場合でも、外部機器の演奏情報を受信して本機から音を出すことができます。

1 *ローカルコントロールの設定準備*

TOUCH(タッチ)ボタンとTRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら、E.PIANO(イーピアノ)ボタンを2回押してE.PIANO(イーピアノ)ボタンを点滅させます。
現在の設定が表示されます。

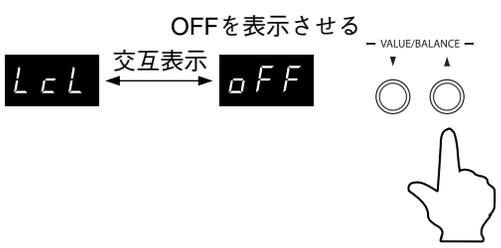


2 *設定を変更する*

VALUE/BALANCE(バリュー／バランス)ボタンを押して設定します。

・工場出荷時の設定はローカルコントロール オンです。
・メモリー・バックアップ機能(50ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。

例: ローカルコントロール オフを選ぶ



3 *設定モードから抜ける*

TOUCH(タッチ)ボタン、TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタン、EFFECTS(エフェクト)ボタン、REVERB(リバーブ)ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

プログラムナンバー送信 オン/オフの設定

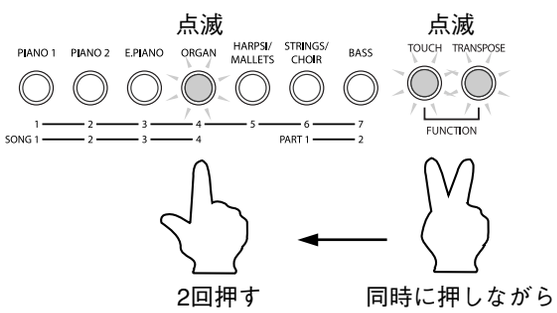
本機の音色ボタンを操作したときにプログラム(音色)ナンバーを送信するかしないかを指定できます。
プログラムナンバー送信 オンを指定すると、本機で音色選択をしたときに通常通り本機からプログラムナンバーを送信します。(次ページのプログラムナンバー表を参照)
プログラムナンバー送信 オフを指定すると、本機で音色選択をしても本機からプログラムナンバーは送信しません。本機で音色を切り替えても外部機器側の音色を切り替えたくない場合には、プログラムナンバー送信オフを指定してください。

※プログラムナンバー送信 オンを指定しておくと、以下のMIDIエクスクルーシブデータも送信されます。

- リバーブ、エフェクトの設定(オン/オフ、タイプ)操作
- チューニング操作
- プログラムナンバー送信オン/オフの操作
- タッチカーブセレクトの操作
- デュアルの設定操作
- 音律の設定操作
- マルチティンバー・モード オン/オフの操作
- マルチティンバー・モードのチャンネルミュートの設定操作

1 *プログラムナンバー送信の設定準備*

TOUCH(タッチ)ボタンとTRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら、ORGAN(オルガン)ボタンを2回押してORGAN(オルガン)ボタンを点滅させます。
現在の設定が表示されます。



2 *設定を変更する*

VALUE/BALANCE(バリュー/バランス)ボタンを押して設定します。

- 工場出荷時の設定はプログラムナンバー送信 オンです。
- メモリー・バックアップ機能(50ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。

- デュアル、スプリットモード時には、デュアル、スプリットモードのオン/オフ情報、音色の切り替えなどをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。(マルチティンバー・モード オンのときは送信します。)

例: プログラムナンバー送信 オフを選ぶ

3 *設定モードから抜ける*

TOUCH(タッチ)ボタン、TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタン、EFFECTS(エフェクト)ボタン、REVERB(リバーブ)ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

◆音色に対応するプログラムナンバー

音色ボタン	音色	マルチティンバーモード			
		オフ、オン1	オン2		
		Prog#	MSB	LSB	Prog#
PIANO1	コンサート グランド	1	121	0	1
	スタジオ グランド	2	121	1	1
	メロー グランド	3	121	2	1
	ブライト ピアノ	4	121	0	2
PIANO2	コンサート グランド 2	5	95	16	1
	スタジオ グランド 2	6	95	17	1
	メロー グランド 2	7	95	18	1
	ロック ピアノ	8	121	1	2
ELECTRIC PIANO	クラシック E. ピアノ	9	121	0	5
	モダン E. ピアノ	10	121	0	6
	60's E. ピアノ	11	121	3	5
	レジェンド E. ピアノ	12	121	3	6
ORGAN	ジャズ オルガン	13	121	0	18
	ドローバー オルガン	14	121	0	17
	チャーチ オルガン	15	121	0	20
	ディアパソン	16	95	7	20
HARPSI / MALLETS	ハープシコード	17	121	0	7
	ビブラフォン	18	121	0	12
	クラビ	19	121	0	8
	マリンバ	20	121	0	13
STRINGS / CHOIR	スロー ストリングス	21	95	1	45
	ストリング アンサンブル	22	121	0	49
	シンセ ストリングス	23	95	8	49
	メロー ストリングス	24	95	1	49
	クワイア	25	121	0	53
	クワイア2	26	95	53	54
	ファンタジー	27	121	0	89
	ファンタジー2	28	121	0	100
BASS	ウッド ベース	29	121	0	33
	エレクトリック ベース	30	121	0	34
	フレットレス ベース	31	121	0	36
	W. ベース&シンバル	32	95	1	33

MIDI受信のみ

音色ボタン	音色	マルチティンバーモード			
		オフ、オン1	オン2		
		Prog#	MSB	LSB	Prog#
ギター	ナイロンアコースティック	33*	121	0	25
	スチールギター	41*	121	0	26
	スチールギター2	34*	95	20	26
	バラードギター	56*	95	6	26
	モダンジャズギター	43*	95	10	27
	エレクトリックギター	46*	121	0	28
	エレクトリックギター2	57*	95	2	29
	ミュートギター	44*	121	0	29
	オーバードライブ	42*	121	0	30
	ギターカッティングノイズ	45*	121	1	121
	ギターカッティングノイズ2	58*	95	1	121
ベース	アコースティックベース	38*	95	5	33
	フィンガーベース	47*	95	6	34
	フィンガースラップベース	39*	121	1	34
	ピックベース	37*	121	0	35
	スラップベース	40*	121	0	38
	シンセベース	35*	121	0	40
	シンセベース2	36*	121	1	40
シンセサイザー	ユーロヒット	55*	121	3	56
	シンセブラス	48*	121	0	63
	ジャンプブラス	49*	121	3	63
	アナログブラス	53*	121	2	64
	シーケンスアナログ	51*	121	4	82
	ブライトウォームパッド	50*	95	1	90
	マルチスウィープ	54*	95	1	96
	ブライトネス	52*	95	1	101
ドラム	スタンダードキット	59*	120	0	1
	スタンダードキット2	60*	120	0	33
	ルームキット	61*	120	0	9
	アナログキット	62*	120	0	26

ドラムキットの各音色については、ドラム音色一覧（70ページ）をご覧ください。
＊オン1の時のみ有効。

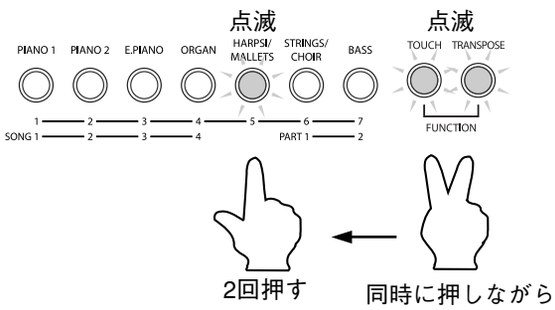
マルチティンバー・モード オン/オフの設定

マルチティンバー･モード オン/オフの設定ができます。
通常のマルチティンバー･モード オフのときは、設定したMIDI(ミディ)チャンネル(1～16のいずれか1つ)で情報を送受信しますが、マルチティンバー･モード オンを指定すると、複数のMIDIチャンネルの演奏情報を受信できるようになり、個々のチャンネルで受信したプログラムナンバーに各音色が対応して鳴ります。(受信したプログラムナンバーに対応する音色は前ページの表の通りです。)
この機能を使うことにより、外部のシーケンサーに記録してあるアンサンブル演奏を、本機の複数の音色で鳴らすことができます。

※マルチティンバー・モード オンの場合は、次ページのチャンネルミュートの機能を使うと、チャンネルごとに発音をオン／オフできます。

1 *マルチティンバー･モードの設定準備*

TOUCH(タッチ)ボタンとTRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら、HARPSI(ハープシ)/MALLETS(マレッツ) ボタンを2回押してHARPSI(ハープシ)/MALLETS(マレッツ)ボタンを点滅させます。
現在の設定が表示されます。

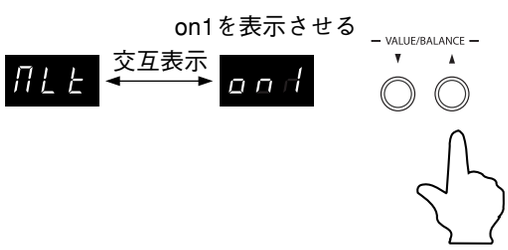


2 *設定を変更する*

VALUE/BALANCE(バリュー／バランス)ボタンを押して設定します。

- 工場出荷時の設定はマルチティンバー･モード オフです。
- メモリー･バックアップ機能(50ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。

例: マルチティンバー･モード オン1を選ぶ



3 *設定モードから抜ける*

TOUCH(タッチ)ボタン、TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタン、EFFECTS(エフェクト)ボタン、REVERB(リバーブ)ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

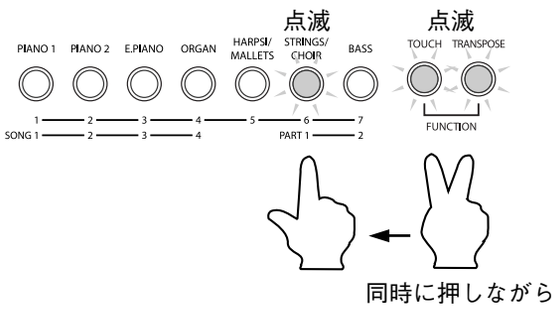
チャンネルミュートの設定

マルチティンバー･モード オンを指定した場合のみ設定する機能で、1～16チャンネルとそれぞれ発音のオン／オフを指定できます。

・マルチティンバー・モード オフの場合は、この機能は設定できません

1 チャンネルミュートの設定準備

TOUCH(タッチ)ボタンとTRANSPOSE(トランスポーズ)ボタンを押しながら、STRINGS/CHOIR(ストリングス/クワイア)ボタンを2回押してSTRINGS/CHOIR(ストリングス/クワイア)ボタンを点滅させます。



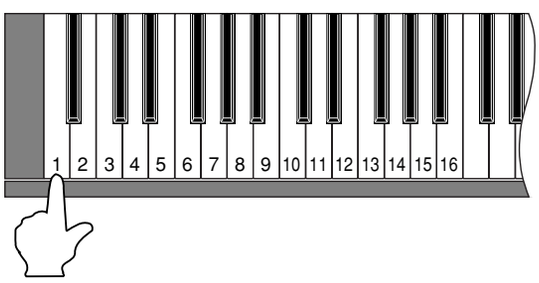
同時に押しながら

2 設定するチャンネルを指定する

設定するチャンネルに対応する鍵盤を押します。

指定したチャンネルの現在の設定が表示されます。この機能の設定を行っている間は、鍵盤を押しても音が出ません。

例: 1チャンネルを指定する



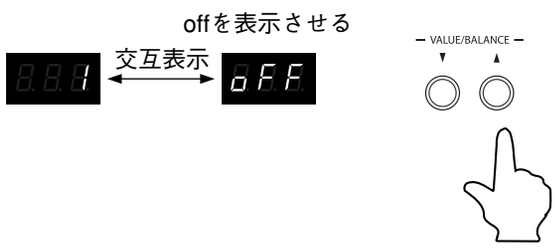
3 設定を変更する

VALUE/BALANCE(バリュー／バランス)ボタンを押して指定します。
発音させる場合はオンを指定し、発音させない場合はオフを指定します。

他のチャンネルを設定する場合は、2、3の操作を繰り返して設定してください。

・工場出荷時の設定は全チャンネルオンです。
・メモリー･バックアップ機能(50ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。

例: オフを指定する



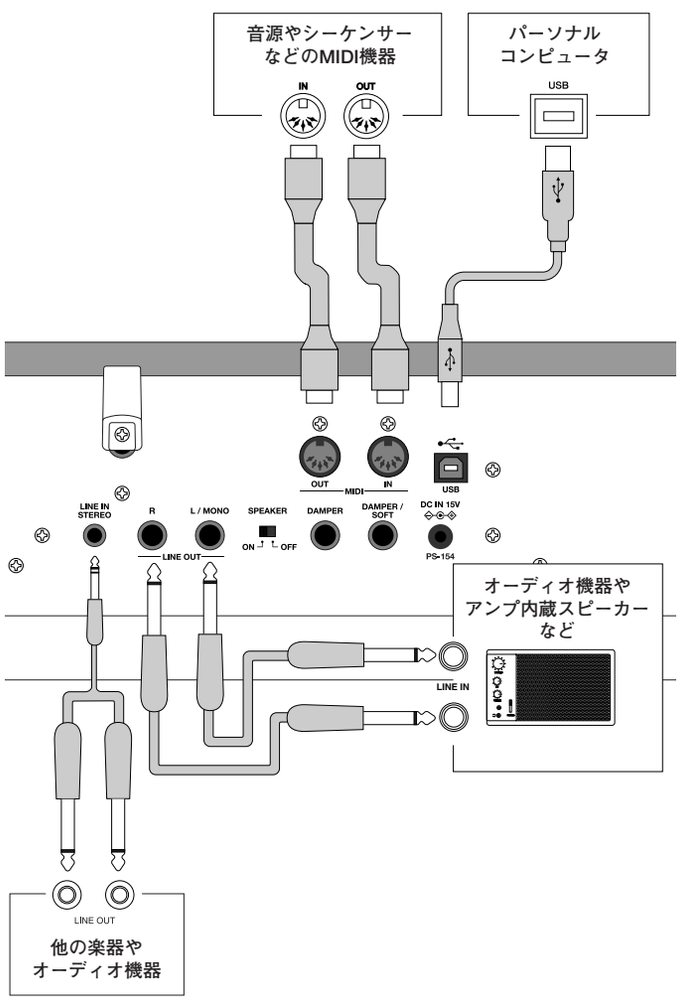
4 設定モードから抜ける

TOUCH(タッチ)ボタン、TRANSPOSE(トランスポーズ)ボタン、EFFECTS(エフェクト)ボタン、REVERB(リバーブ)ボタンのいずれかを押すか、音色ボタンを押します。

付　録

1）外部機器と接続する

⚠ 外部機器と接続する場合には、各機器の電源を切ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に各機器のボリュームを最小にしてください。
本機や外部機器の故障の原因になります。



① LINE IN STEREO（ライン イン ステレオ）端子（ライン入力ステレオ端子）＜ミニジャック＞

他の楽器やオーディオなどのライン出力端子とこの端子を接続すると、接続した機器の音を本機の内蔵スピーカーから出力できます。
この場合、本機側で音量を調節できませんので、外部機器側で調節してください。

② LINE OUT（ライン アウト）端子（ライン出力端子）＜標準ジャック＞

この端子をアンプ内蔵スピーカーやステレオなどのライン入力端子に接続すると、本機の音を外部機器で鳴らしたり、ミニディスクやカセットテープに録音することができます。

外部機器とステレオ接続する場合には、R端子とL/MONO端子両方を使用し、モノラル接続する場合にはL/MONO端子だけを使用してください。

・本機の出力レベルは、MASTER VOLUME（マスターボリューム）で調節することができます。

⚠ 注意
本機のLINE IN（ライン イン）端子とLINE OUT（ライン アウト）端子を直接ケーブルで接続しないでください。
発振音が発生し、故障の原因になります。

LINE端子について

接続する機器によって使用するケーブルは異なりますので、機器にあわせて市販のケーブルをお買い求めください。

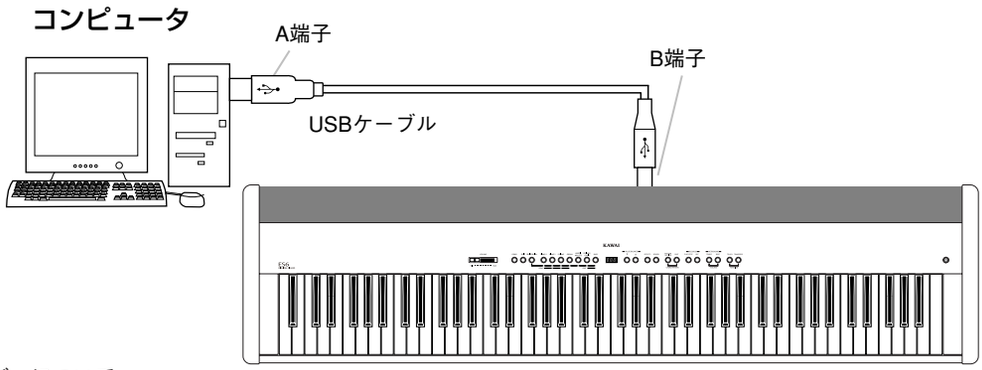
③ MIDI（ミディ）端子

MIDI規格対応の機器と接続する端子です。市販のMIDIケーブルをご使用ください。

④ USB（ユーエスビー）端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続して、MIDIデータをやりとりすることができます。

・USB端子にはA端子とB端子があり、コンピュータはA端子、電子ピアノとはB端子でそれぞれ接続します。



USBドライバーについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USB-MIDIドライバー）がコンピュータに組み込まれている必要があります。
お使いのコンピュータのOSによって使用するUSB-MIDIドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

◇Windows Vista/2000/98SE をお使いの方

指定の専用USB ー MIDI ドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用USB ドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。

http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/

■パソコンと接続する前に説明書をよく読んで、必ずインストール作業を行ってください。
この作業を行わずに接続すると、USB-MIDI ドライバーが動作しない場合があります。
WindowsVista の場合は、必ず「XP 互換モード」でインストールしてください。
万一動作しなくなった場合は、OS の「ドライバーの更新」機能によって正しいUSB-MIDI ドライバーをインストールするか、「ドライバーの削除」で削除してからインストール作業をやり直してください。

アプリケーションソフトで本機と MIDI 通信する場合は MIDI デバイスとして「KAWAI USB MIDI IN」、及び「KAWAI USB MIDI OUT」を指定してください。

◇Windows XP/Me をお使いの方

Windows に搭載されている標準 USB-MIDI ドライバーを使用しますので、パソコンと接続すると自動的にこの USB-MIDI ドライバーがインストールされます。
アプリケーションソフトで本機とMIDI通信する場合はMIDIデバイスとして「USBオーディオデバイス」を指定してください。

◇Macintosh OS X をお使いの方

Macintosh OS X では自動的に USB-MIDI デバイスとして認識されますので、特別なドライバーは必要ありません。
アプリケーションソフトで本機と MIDI 通信する場合は「USB-MIDI」を指定してください。

◇OS9 以前の Macintosh をお使いの方

OS9 以前の Macintosh にはサポートしておりません。市販のMIDI インターフェイスを使用して、MIDI接続してください。

USBに関するご注意

・MIDI と USB が同時に接続された場合、USB が優先されます。
・デジタルピアノとコンピュータを USB ケーブルで接続する場合は、まず USB ケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。
・デジタルピアノとコンピュータを USB 接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。
・デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータの USB ポートに直接接続してください。
・下記の動作中、デジタルピアノの電源オン / オフ、USB ケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。
  * ドライバーのインストール中
  * コンピュータの起動中
  * MIDI アプリケーションが動作中
  * コンピュータと通信中
  * 省電力モードで待機中

※お使いのコンピュータの設定によっては、USB が正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

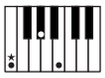
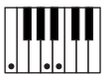
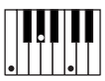
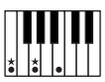
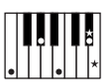
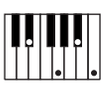
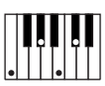
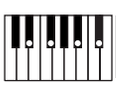
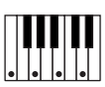
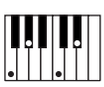
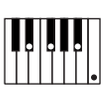
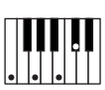
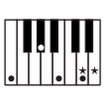
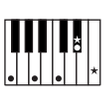
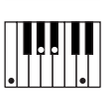
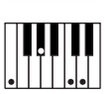
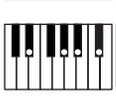
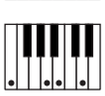
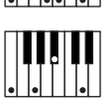
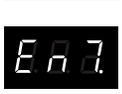
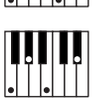
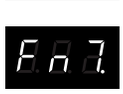
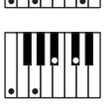
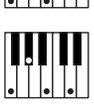
※“MIDI”は、社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
※ Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。
※ Macintosh は、Apple Computer.Inc. の登録商標です。
※その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

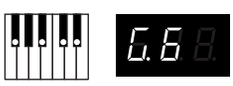
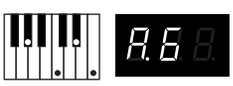
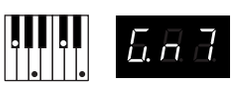
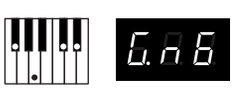
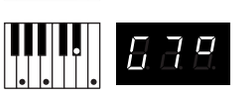
2）コード名一覧

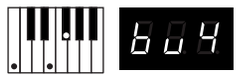
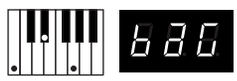
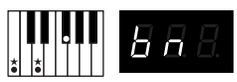
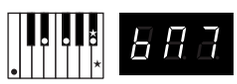
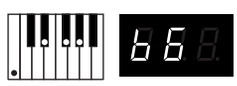
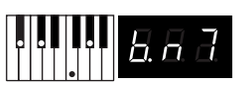
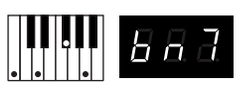
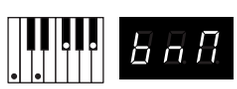
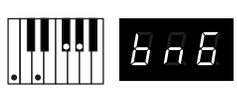
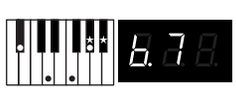
リズムセクション機能（32ページ）で、コード進行を演奏する時に使います。

●印の鍵盤を押さえると、各コードネームのコードが演奏できます。　Majコード、min、M7、7の各コードは、★印の鍵盤を押さえるだけでも、コードが演奏できます。押さえる鍵盤の音域は、低音側（F♯2から下）であればどこでも構いません。

C Maj	D♭ Maj (C♯)	D Maj	
C sus4	D♭ sus4 (C♯)	D sus4	
C aug	D♭ aug (C♯)	D aug	
C min	D♭ min (C♯)	D min	
C M7	D♭ M7 (C♯)	D M7	
C 6	D♭ 6 (C♯)	D 6	
C m7	D♭ m7 (C♯)	D m7	
C mM7	D♭ mM7 (C♯)	D mM7	
C m6	D♭ m6 (C♯)	D m6	
C 7	D♭ 7 (C♯)	D 7	
C 7(♭5)	D♭ 7(♭5) (C♯)	D 7(♭5)	
C 7(♯5)	D♭ 7(#5) (C♯)	D 7(♯5)	
C 7sus4	D♭ 7sus4 (C♯)	D 7sus4	
C m7(♭5)	D♭ m7(♭5) (C♯)	D m7(♭5)	
C dim	D♭ dim (C♯)	D dim	
C その他	D♭ その他 (C♯)	D その他	

E♭ Maj (D♯)			E Maj			F Maj		
E♭ sus4 (D♯)			E sus4			F sus4		
E♭ aug (D♯)			E aug			F aug		
E♭ min (D♯)			E min			F min		
E♭ M7 (D♯)			E M7			F M7		
E♭ 6 (D♯)			E 6			F 6		
E♭ m7 (D♯)			E m7			F m7		
E♭ mM7 (D♯)			E mM7			F mM7		
E♭ m6 (D♯)			E m6			F m6		
E♭ 7 (D♯)			E 7			F 7		
E♭ 7(♭5) (D♯)			E 7(♭5)			F 7(♭5)		
E♭ 7(♯5) (D♯)			E 7(♯5)			F 7(♯5)		
E♭ 7sus4 (D♯)			E 7sus4			F 7sus4		
E♭ m7(♭5) (D♯)			E m7(♭5)			F m7(♭5)		
E♭ dim (D♯)			E dim			F dim		
E♭ その他 (D♯)			E その他			F その他		

G♭ Maj (F♯)			G Maj			A♭ Maj (G♯)		
G♭ sus4 (F♯)			G sus4			A♭ sus4 (G♯)		
G♭ aug (F♯)			G aug			A♭ aug (G♯)		
G♭ min (F♯)			G min			A♭ min (G♯)		
G♭ M7 (F♯)			G M7			A♭ M7 (G♯)		
G♭ 6 (F♯)			G 6			A♭ 6 (G♯)		
G♭ m7 (F♯)			G m7			A♭ m7 (G♯)		
G♭ mM7 (F♯)			G mM7			A♭ mM7 (G♯)		
G♭ m6 (F♯)			G m6			A♭ m6 (G♯)		
G♭ 7 (F♯)			G 7			A♭ 7 (G♯)		
G♭ 7(♭5) (F♯)			G 7(♭5)			A♭ 7(♭5) (G♯)		
G♭ 7(♯5) (F♯)			G 7(♯5)			A♭ 7(♯5) (G♯)		
G♭ 7sus4 (F♯)			G 7sus4			A♭ 7sus4 (G♯)		
G♭ m7(♭5) (F♯)			G m7(♭5)			A♭ m7(♭5) (G♯)		
G♭ dim (F♯)			G dim			A♭ dim (G♯)		
G♭ その他 (F♯)			G その他			A♭ その他 (G♯)		

A Maj		B♭ Maj (A♯)		B Maj	
A sus4		B♭ sus4 (A♯)		B sus4	
A aug		B♭ aug (A♯)		B aug	
A min		B♭ min (A♯)		B min	
A M7		B♭ M7 (A♯)		B M7	
A 6		B♭ 6 (A♯)		B 6	
A m7		B♭ m7 (A♯)		B m7	
A mM7		B♭ mM7 (A♯)		B mM7	
A m6		B♭ m6 (A♯)		B m6	
A 7		B♭ 7 (A♯)		B 7	
A 7(♭5)		B♭ 7(♭5) (A♯)		B 7(♭5)	
A 7(♯5)		B♭ 7(♯5) (A♯)		B 7(♯5)	
A 7sus4		B♭ 7sus4 (A♯)		B 7sus4	
A m7(♭5)		B♭ m7(♭5) (A♯)		B m7(♭5)	
A dim		B♭ dim (A♯)		B dim	
A その他		B♭ その他 (A♯)		B その他	

3）コードパターン一覧

リズムセクションのコードパターン機能（36ページ）で使われているコード進行です。

コードパターンは、8、12、16小節のいずれかでできています。1小節2拍ごと表記してあり、空白は前のコードと同じであることを表わしています。ただし、ディスプレイ表示のコード名とは一部異なり簡略化してある場合があります。また、一部のコードパターンにD/Cのような表記があります。この場合、コードはDですがベースパートはC音で鳴ります。

ディスプレイ表示	小節数	コードパターン															
		1（9）		2（10）		3（11）		4（12）		5（13）		6（14）		7（15）		8（16）	
C-1	8	CM7		Bm7(♭5)	B♭7	Am7		Gm7	C7	FM7		Em7	A7	Dm7		G7sus4	G7
C-2	12	F♯m7(♭5)		B7		Em7		A7		F♯m7(♭5)		B7		Em7		A7	
		Dm7				G7sus4											
C-3	8	C7								F7							
C-4	8	C7						F7		B♭7		G7		C7			
C-5	8	C7				A♭7		B♭7		C7				A♭7		G7	
C-6	16	Cm7						G7sus4		Cm7						G7(♯5)	
		E♭M7		D7(♯5)		G7sus4		G7		Cm7		F7		B♭M7		G7(♯5)	
C-7	12	CM7	Am7	Dm7	G7sus4	CM7	Am7	Dm7	G7sus4	CM7	Am7	Dm7	G7sus4	CM7	Am7	Dm7	G7sus4
		Em7	Am7	Em7	Am7	Dm7		G7sus4									
C-8	8	CM7		Dm7		CM7		Dm7	G7	Gm7	C7	FM7		Fm7	B♭7	CM7	
C-9	8	C7				B♭7				C7				G7		F7	
C10	16	C7				E♭7				F7				C7			
		C7				E♭7				F7				G7			
C11	8	C7				F7		C7		C7				F7			G7
C12	8	Cm7				F7				Cm7				F7			
C13	8	A♭M7		D♭M7		Gm7		C7		A♭M7		Gm7		F♯dim		G7(♯5)	
C14	8	A♭7		G7(♯5)		Cm7		F7		A♭7		G7(♯5)		F7			
C15	8	C7								E♭7		F7		C7			
C16	16	A♭M7				Gm7				A♭M7				Gm7		C7sus4	C7
		A♭M7				Gm7				A♭M7				G7sus4		G7	
C17	8	C		CM7		C7		FM7		FmM7		CM7		F♯m7(♭5)		G7sus4	G7
C18	8	Cm7				Dm7		Gaug		Cm7				Dm7		Gaug	
C19	16	A♭M7		B♭7		E♭M7		A7		A♭M7		Gaug		Cm7		F7	
		A♭M7		B♭7		Gm7		C7		A♭M7		G7(♯5)		F7			
C20	8	C				D/C				B♭/C				F/C			
C21	8	C		G		B♭		F		A♭		E♭		Dm7		G7	
C22	8	CM7		B7(♯5)	B7	B♭6		A7		A♭M7		Dm7	G7	CM7	Am7	Dm7	G7
C23	8	A♭/B♭		CM7		A♭/B♭		E♭M7		BM7		B♭7		F/A	Dm7(♭5)/A♭	G7	G7(♯5)
C24	8	C7						G7								C7	
C25	8	F7				C7				F7				G7			
C26	8	CM7		G7(♯5)		Gm7	C7	FM7		Fm7	B♭7	CM7		Am7	D7	G7	
C27	8	C7sus4								B♭7sus4							
C28	16	CM7				C7				CM7				C7			
		F♯m7(♭5)		B7		Em7		A7		F♯m7(♭5)		B7		Em7			
C29	8	Cm	CmM7	Cm7	Am7(♭5)	A♭M7		G7(♯5)		Cm	CmM7	Cm7	Am7(♭5)	A♭M7		G7(♯5)	
C30	16	Fm7		B♭7		E♭M7		A♭M7		Dm7(♭5)		G7(♯5)		Gm7(♭5)		C7	
		Fm7		B♭7		E♭M7		A♭M7		Dm7(♭5)		G7(♯5)		Cm7			
C31	8	C		Dm		G	F	C		A7		Dm		G	F	C	
C32	8	C		G7		Am		Am7/G		F		D7		G7			
C33	8	C		G7		F				D7		G7		Am			
C34	16	C7				F7				C7				F7			
		G7		F7		G7		F7		C7							

ディスプレイ表示	小節数	コードパターン															
		1 (9)		2 (10)		3 (11)		4 (12)		5 (13)		6 (14)		7 (15)		8 (16)	
C35	8	C		A♭M7		B♭		Gm7		C		A♭M7		B♭		Gm7	
C36	8	A♭M7				E♭M7				A♭M7				E♭M7		D7	D♭M7
C37	16	C		Em7		Fm7		C				Em7		Fm7		C	
		Am7		Em7		Am7		G7		Am7		Em7		G7sus4		G7	
C38	8	Em7				Dm7				Em7				Dm7			
C39	8	C7								B♭7sus4							
C40	8	C7				B♭m7		B♭7		C7				B♭m7		D♭7	
C41	8	C7		B♭/C		A♭/B♭		B♭		C7		B♭/C		A♭/B♭		B♭	
C42	8	C7				Cm7		Gm7/C		F/C		A♭/C		Gsus4/C			
C43	8	C7				E♭7		D7		F7		E7		A7			
C44	12	FM7				Bm7(♭5)				Em7				E♭M7			
		Dm7		G7		C6											
C45	8	C		Am		F		C	G	C		Am		F		G7	
C46	8	Em7		Am7		Dm7		G7		Em7		A7		Dm7		G7	
C47	8	FM7		Em7		FM7		Am7		Fm7	B♭7	E♭M7	A♭M7	Dm7		G7sus4	
C48	8	FM7		Em7		FM7		Em7	C7sus4	FM7		Em7		FM7	E7	Dm7	G7sus4
C49	8	CM7		FM7		CM7		FM7		Bm7	E7	AM7		GM7		FM7	G7sus4
C50	8	A♭M7		Gm7		B♭m7		A♭M7	A♭7	D♭M7		Cm7		Dm7(♭5)		G7	
C51	8	C		G/B		Gm/B♭		F/A		A♭6		C/G		F#m7(♭5)		G7	
C52	8	F		F#dim		C/G		E7/G#		Am7		D7		Dm7		G7sus4	G7
C53	8	CM7		B♭M7		CM7		B♭M7		Am7		D7	D7(♯5)	Dm7		G7	G7(♯5)
C54	8	F♯m7(♭5)		F7		Em7		A7	A7(♯5)	Dm7		G7	G7(♯5)	CM7		Gm7	C7
C55	8	FM7		FmM7		Em7	E7	Am7		Dm7		G7sus4		CM7			
C56	8	CM7		FM7		Bm7(♭5)	E7	Am7	C7	FM7		Em7	Am7	Dm7		G7sus4	G7
C57	8	C	G/B	F/A	C/G	F	C/E	D7/F#	G7	C	G/B	F/A	C/G	D7/F#	D7	G7sus4	G7
C58	8	CM7		FM7		Dm7		G7sus4	G7	FM7	G7	Em7	Am7	Dm7		G7sus4	G7
C59	8	FM7		CM7		FM7		CM7		Em7(♭5)	A7	Dm7		Fm7		G7sus4	G7
C60	8	C		F		C		F			Am	Dm		G			
C61	8	C		F		C		F			G	Am		F	G	C	
C62	8	C	Am	Dm	G	C	Am	Dm	G	Em	Am	Dm	G7	Em	Am	Dm	G7
C63	8	Cm7	Gm7	Cm7	Gm7	Cm7	Gm7	Cm7	Gm7	Fm7				G7	A♭7	G7	
C64	8	C		CM7		C7		F		Dm7		Am7		D7		G7	
C65	16	Cm7				F7				Cm7				F7			
		Fm7		B♭7		Cm7		C7		Fm7		F♯dim		G7(♯5)			
C66	8	C				Am				Dm		G		C			
C67	16	Am7		D7		G7sus4		C		Am7		D7		G7sus4		C	
		Fm7		E7		Am7		D7		G7sus4				C			
C68	16	C7								F7							
		C7												G7		F7	
C69	8	Cm7								B♭7sus4							
C70	8	Dm7				E♭7sus4				Dm7				E♭7sus4			
C71	8	C7				F7				B♭7		G7		C7		F7	
C72	8	C7				E♭7				B♭		F		C		G7	
C73	12	C7				F7				C7				G7		F7	
		C7		F7		C7		F7									
C74	8	Cm							B♭	A♭7				Cm		D♭7	
C75	16	C				F7				C				B♭		C	
		G7				C7				G7				C7			
C76	8	C7				B♭7				C7				B♭7		F7	
C77	8	C		G7		C7		F7		C		F	G7	C	F	C	G7
C78	16	C				CM7				C7				F			
		Dm7		G7		Em7		Am7		Dm7		G7		C			
C79	8	C7		F7		C7		F7		D7		G7		D7		G7	

ディスプレイ表示	小節数	コードパターン															
		1 (9)		2 (10)		3 (11)		4 (12)		5 (13)		6 (14)		7 (15)		8 (16)	
C80	16	C		G7				C				G7				C	
		F		C		G7		C	C7	F		C		D7		G7	
C81	16	C		C7		F		C						G7			
		C		C7		F		C				G7		C			
C82	8	C7		F7		C7				F7		Dm7		G7		F7	
C83	8	C7				E♭7		D7		F7				A♭7		G7	
C84	8	C7sus4	C7	C7sus4		B♭7sus4	B♭7	B♭7sus4		A♭7sus4	A♭7	A♭7sus4		G7sus4	G7	G7sus4	
C85	8	C				G				F7			B♭	C		G	
C86	12	C6						C7		F7				C6			
		G7		F7		C6											
C87	8	C	G	Em7	Am7	Dm7	D7	G7		C	G	Em7	A7	Dm7	G7	C	
C88	16	C		CM7	C7	F		Fm6		Em7		A7		Dm7		G7	
		C		CM7	C7	F		Fm6		Em7	A7	Dm7	G7	C	Fm6	C	
C89	16	F		G7		Em7		Am7		Dm7		G7		C	CM7	C7	
		F		Fm6		Em7		A7		D7sus4		D7		G7sus4		G7	
C90	8	C		F		C		G7		C		F		C	G7	C	
C91	16	C				G				B♭				Am			
		F				C				D7				G7			
C92	12	C9		F13		C9				F13				C9		A7(♭13)	
		Dm9		G13		C9	A7(♭13)	Dm9	G13								
C93	16	C		CM7		C7		FM7		Dm		DmM7		Dm7		G7	
		C		CM7		Em7(♭5)		A7		Dm7		Fm7		Em7	A7	Dm7	G7
C94	16	Fm7		B♭7		E♭M7		E♭6		E♭m7		A♭7		D♭M7		D♭6	
		C♯m7		F♯7		Bm7		E7		Am7		D7		Dm7		G7	
C95	16	Cm7		Fm7		B♭7		E♭M7	A7	A♭M7		Dm7(♭5)		G7	G7(♯5)	Cm7	C7
		Fm7		B♭7		Gm7		C7	C7(♯5)	Fm7		B♭7		E♭6		G7	G7(♯5)
C96	8	Cm7															
C97	8	A♭m7	D♭7	G♭M7	C♭M7	A♭m7	D♭7	G♭M7		Fm7	B♭7	E♭M7	A♭M7	Fm7	B♭7	G7	G7(♯5)
C98	16	Cm7	Cdim	B♭M7		Cm7	Cdim	B♭M7		Gm7		C7	C7(♯5)	Fm7		Fm7(♭5)	
		E♭M7	Dm7	D♭M7	Cm7	E♭M7	Dm7	D♭M7	Cm7	G7		G7(♯5)		Cm6		Cm7	
C99	16	C		D7		Dm7	G7	C		C		D7		Dm7	G7	C	
		C	CM7	C7		F	Fm	C		C	A7	D7		Dm7	G7	C	
C00	16	Cm		G7				Cm				G7				Cm	
		Fm		Cm		G7		Cm	C7	Fm		Cm		D7		G7	

4）ドラム音色一覧

Key	No.	Standard Kit 1	Standard Kit 2	Room Kit	Analog Kit
C 0	24				
C# 0	25	Snare Roll	←	←	←
D 0	26	Finger Snap	←	←	←
D# 0	27	High Q	←	←	←
E 0	28	Slap	←	←	←
F 0	29	Scratch Push	←	←	Scratch Push2
F# 0	30	Scratch Pull	←	←	Scratch Pull2
G 0	31	Sticks	←	←	←
G# 0	32	Square Click	←	←	←
A 0	33	Metronome Click	←	←	←
A# 0	34	Metronome Bell	←	←	←
B 0	35	Std1 BD2	Std2 BD2	Room BD2	Analog BD2
C 1	36	Std1 BD1	Std2 BD1	Room BD1	Analog BD1
C# 1	37	Rim	←	←	Analog Rim
D 1	38	Std1 SD1	Std2 SD1	Room SD1	Analog SD1
D# 1	39	Hand Clap	←	←	←
E 1	40	Std1 SD2	Std2 SD2	Room SD2	Analog SD2
F 1	41	Std1 Low Tom2	←	Room Low Tom2	Analog LowTom2
F# 1	42	Std1 HHC	←	Room HHC	Analog HHC
G 1	43	Std1 Low Tom1	←	Room Low Tom1	Analog Low Tom1
G# 1	44	Std1 HHP	←	←	Analog HHP
A 1	45	Std1 Mid Tom2	←	Room Mid Tom2	Analog Mid Tom2
A# 1	46	Std1 HHO	←	Room HHO	Analog HHO
B 1	47	Std1 Mid Tom1	←	Room Mid Tom1	Analog Mid Tom1
C 2	48	Std1 Hi Tom2	←	Room Hi Tom2	Analog Hi Tom2
C# 2	49	Std1 Crash1	←	←	Analog Crash1
D 2	50	Std1 Hi Tom1	←	Room Hi Tom1	Analog Hi Tom1
D# 2	51	Std1 Ride1	←	←	←
E 2	52	Chaina	←	←	←
F 2	53	Cup	←	←	←
F# 2	54	Tambourine	←	←	←
G 2	55	Splash	←	←	←
G# 2	56	Cowbell	←	←	Analog Cowbell
A 2	57	Crash2	←	←	←
A# 2	58	Vibra Slap	←	←	←
B 2	59	Ride2	←	←	←
C 3	60	Hi Bongo	←	←	←
C# 3	61	Low Bongo	←	←	←
D 3	62	Mute Hi Conga	←	←	Analog Hi Conga
D# 3	63	Hi Conga	←	←	Analog Mid Conga
E 3	64	Low Conga	←	←	Analog Low Conga
F 3	65	Hi Timbale	←	←	←
F# 3	66	Low Timbale	←	←	←
G 3	67	Hi Agogo	←	←	←
G# 3	68	Low Agogo	←	←	←
A 3	69	Cabasa	←	←	←
A# 3	70	Maracas	←	←	Analog Maracas
B 3	71	Short Whistle	←	←	←
C 4	72	Long Whistle	←	←	←
C# 4	73	Short Guiro	←	←	←

Key	No.	Standard Kit 1	Standard Kit 2	Room Kit	Analog Kit
D 4	74	Long Guiro	←	←	←
D# 4	75	Claves	←	←	Analog Claves
E 4	76	Hi Wood Blk	←	←	←
F 4	77	Low Wood Blk	←	←	←
F# 4	78	Mute Cuica	←	←	←
G 4	79	Open Cuica	←	←	←
G# 4	80	Mute Triangle	←	←	←
A 4	81	Open Triangle	←	←	←
A# 4	82	Shaker	←	←	←
B 4	83	Jingle Bell	←	←	←
C 5	84	Bell Tree	Bar Chimes	←	←
C# 5	85	Castanets	←	←	←
D 5	86	Mute Surdo	←	←	←
D# 5	87	Open Surdo	←	←	←

※ ← Standard Kit 1と同じ

5）主な仕様

■鍵　盤	88鍵/アドバンスト・ハンマー・アクション IV-F
■同時発音数	最大192音
■音色数	32音色
■ディスプレイ	3桁LED
■効　果	リバーブ（5種類）、エフェクト（7種類）、イコライザー（3種類）
■自動伴奏機能	100リズム×2バリエーション、ワンフィンガーアドリブ®
■メトロノーム	1、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8
■レコーダー	2パート×4ソング、総記録容量　約60,000音
■デモ曲	メインデモ　1曲、音色デモ　27曲、リズムセクションデモ　1曲
■その他の機能	デュアル、スプリット、連弾演奏、バランススライダー、レジストレーション、タッチカーブセレクト（6種類）、 トランスポーズ、ブリリアンス、チューニング、ボイシング、ダンパーエフェクト、ストリングレゾナンス、 音律、ロアーオクターブシフト、ロアーペダル、ダンパーホールド、オートフィルイン、メモリーバックアップ
■ペダル	ダンパー、ソフト（オプションの2本ペダル接続時）、ソステヌート（オプションの3本ペダル接続時）
■外部端子	ヘッドホン（2系統）、MIDI（IN、OUT）、USB端子（TO HOST）、 LINE OUT（L/MONO、R）、LINE IN（ステレオミニ）
■出　力	13W×2
■スピーカー	5cm×4、（8×12cm）×2（バスレフ型　エンクロージャー装備）
■定格電圧	AC100V、50/60Hz
■消費電力	30W
■寸　法	（W×D×H）　：　136.2 × 34.5 ×13.9 （cm）
■重　量	本体のみ　　21.5 kg

6)故障かな？と思ったら

電源が入らない（パネルのLEDが点灯しない）

→ 電源ケーブルが本体とACアダプターにしっかり差し込んであるか確認する。（P11）

鍵盤を弾いても音が出ない

→ MASTER VOLUME（マスターボリューム）が下がっていないか確認する。（P11）

ヘッドホンを抜いたのに（差してないのに）スピーカーから音が出ない

→ スピーカーのスイッチがOFFになっていないか確認する（P11）

スピーカーから異音が出る

→ 本体の下に紙や薄い布がないか確認する。（P11）

症状が改善されない場合や、その他ご不明な点がございましたら、下記までご連絡いただきますようお願い致します。

［お問い合せ先について］

◆ご不明な点がございましたら、下記お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室
Tel : 053-457-1311　　E-mail : customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00　（土曜日、祝日及び弊社規定の休日を除きます）

お客様サポート・お問い合せフォーム
http://www.kawai.co.jp/　の「お客様サポート」よりお進みください。

◆故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。

※詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

7) MIDI（ミディ）インプリメンテーションチャート

◇ KAWAI［Model ES6］MIDI IMPLEMENTATION CHART

Date : APRIL,2008
Version : 1. 0

ファンクション		送　信	受　信	備　考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 1～16	1 1～16	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *******	モード1 モード1, 3 * ×	オムニ･オン、チャンネル1 *オムニ･オフ、チャンネル1～16に設定可能
ノート ナンバー	音域	9～120 ** *******	0～127 0～127	**トランスポーズを含む
ベロシティ	ノート･オン ノート･オフ	○　9nH　v=1～127 ×　8nH　v=0	○ ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ･ベンド		×	×	
コントロール チェンジ	0 ,32 7 10 11 64 66 67	○ × × × ○（右ペダル） ○（中ペダル）*2 ○（左ペダル）*3	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	パンクセレクト*1 ボリューム パンポット エクスプレッション ダンパー ソステヌート ソフトペダル
プログラムチェンジ 設定可能範囲		○	○	*1
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	ローカルON／OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	○ ○ ○ ×	
備　考		*1　プログラムチェンジ対応表参照 *2　F-300H（オプションの3本ペダル）接続時 *3　F-20（オプションの2本ペダル）、F-300H　接続時		

モード1：オムニオン、ポリ　　モード2：オムニオン、モノ　　○: あり
モード3：オムニオフ、ポリ　　モード4：オムニオフ、モノ　　×: なし

KAWAI

株式会社 河合楽器製作所
電　子　楽　器　事　業　部
〒430-8665　静岡県浜松市中区寺島町200番地
TEL. 053（457）1277 ／ FAX. 053（457）1279
http://www.kawai.co.jp/

816279
KPSZ-0235
0804S - Printed in Indonesia